

東洋文庫所蔵『庭訓之鈔』翻刻（二）

小木曾 千代子

小稿は 公益財団法人東洋文庫所蔵岩崎文庫の貴重書『庭訓往来抄』（請求記号一 C 62）の翻刻である。
『庭訓之鈔』は、その外題である。翻刻許可をいただき心より感謝し御礼を申し上げます。

今回は、「（一）」（『中京大学文学部紀要』第五十七巻第二号）に続く三丁表一行目より十三丁裏最終行までである。なお、翻刻方針を改めた点があり、新たな凡例を次に記した。また、「（二）」の誤り箇所を訂正する。

訂正

81頁2行目・105頁5行目・110頁6行目 東京大学附属図書館所蔵（誤）

東京大学総合図書館所蔵（正）

凡例

一、当翻刻の底本は、公益財団法人東洋文庫所蔵の『庭訓之鈔』（外題）である。対校本として次の三本を用いた。

東京大学文学部国語研究室所蔵『庭訓抄』 略称「三園本」 略号「三」。

国立国会図書館所蔵『左貫註庭訓』 略称「左貫註」 略号「左」。

東京大学総合図書館所蔵『庭訓往来古注』 略称「小中村本」 略号「小」。

一、底本の体裁は、『庭訓往来』の本文を適宜区切つて注を割注で施してある。すなわち本文・割注・本文・割注・・・と続く。この体裁は、大方の『真名抄』に共通する。翻刻では、本文はその都度、改行した。割注もその都度改行し、本文よりやや小字で一行に組んだ。傍注、頭注は、半葉ごとに後掲した。各状の日付は、原本通り一字下げとした。

一、異同について

異同は、次のように四種に分けた。なお、訓点の異同は基本的に取り上げないが、取り上げた箇所がある。

・ 本 本文の異同

例、本1夫婦左三小女人。

1 行目の「夫婦」が三園本、左貫註、小中村本には「女人」とあることを意味する。行数は翻刻上のものである（以下同）。序文は本文として扱った。

・ 割 割注

小中村本の割注は底本との異同が大きく、異同の列挙は煩雑となることから全文を掲出した。「割」に続く数字は、底本の翻刻割注の行数を示す。

・ 傍 傍注

傍注には下欄や左右の欄外のものも含む。すなわち、上欄以外のものである。注が施注語の左にある場合（左）と注記したが、注記を省略したものもある。但し、「」が施注語である場合と、その辺りという位置の説明の場合とがある。

その他、必要に応じて説明を加えた。

・ 頭注

書き出しが上欄から始まっているものは記述が匡郭内に及んでいてもここに取り上げ、注ごとに「*」を付けた。頭注は一つの固まりを呈している場合があるが翻刻上に反映させていない。

一、 対校本独自の書き入れ注について

対校本の注は、底本のものと同じであれば、表現が違っていても同一と判断した。

底本には存在しない対校本独自の注については、伝本ごとに掲出した。その場合、三園本、左貫注、小中村本の順とした。諸本間の異同の判断は、底本との異同の場合に準じ、次のように示した。

例 三園本 例 4 「四」 紀伝明経明法算道也_左。

底本の4行目の「四道」に三園本は「紀伝明経明法算道也」の傍注があり、左貫注も三園本と同様という意味である。_左が無ければ三園本のみということである。

一、 字体は、現行字体を基本としたが、原本のままとしたものがある。「せ」や「子」は片仮名に換えた。

一、 句読点は、底本に沿いつつ稿者による加減がある。

一、 合字は一字ずつ表記した。

一、 合点、朱引きは省略した。

一、 繰り返し符号は仮名の場合は「ゝ」、漢字の場合は「々」とした。

一、 丁数は オ、ウとして各丁の初めに示した。

一、 振り仮名が左にある場合も右側に移した。その場合「左」と注記した。対校本独自の振り仮名は、必要に応じて取り上げ、底本との異同として本や割の中で示した。

一、 傍注、頭注の仮名の大小は大字に統一したが、訓点の箇所は原本のままである。改行は稿者によるが、「ノ」を以て原本

の改行を示した箇所がある。

一、補入文字

底本には脱字の場合、本来在るべき位置に小丸「・」を打って行末辺りに補入文字を補い、その文字に「上」等と小書きの指示がある。翻刻も同様の体裁とした。但し、補入文字は山括弧「」で括り、文字以外の指示記号は省略した。

一、虫損、汚損等による不明文字は、で示し、文字数不明の場合は「一」で示した。擦り消し、墨消し、汚損、難読文字等は「」で示し、注記した。それぞれ、異同の欄に対校本を以て示した。対校本以外の伝本を参照した場合は、その伝本を翻刻の「(一)」に取り上げた伝本の番号を以て示した。

一、必要に応じて底本の文字を括弧内に説明した。場合によっては 印を付け、説明を後述した。また、疑問の文字には「マヽ」と注記し、異同の欄に対校本を以て示した。

一、括弧内に示した異同は、直前の圈点の付いた文字に対してである。

一、脱字の疑われる箇所には、「脱力」と注記し、異同の欄に対校本を以て示した。

一、文字の再度記入を省略した縦線は「―」で表記した。

一、翻刻上の誤植と間違われる可能性のある箇所には「マヽ」と注記した。

一、対校本の書き入れの表記は、底本に準じる。

(翻刻)

3才

庭訓往来

右名「庭訓」者、本_下于伯鯉魚趨_レ庭而聞_中詩礼之訓_上也。鯉魚過_ト庭_ラ已_二二度也。故_レ私_レ謂_之「庭訓」。鯉魚童蒙而受_テ聖父之庭_ノ訓_ヲ。蓋_シ此書為_レ示_二童蒙之人_一也。然_ハ以分_二十二月_一制_レ之。故文章者、記_二時節之風物_一也。依_二官位_一而定_二筆位文章_一也。后_レ代可_レ畏_レ之。君_レ子以_二此書_一、官高卑_レ之上_三有_二書樣_一、次第可_レ弁_レ之也。往来者、辞_ノ往来歟。或一書往于彼_ニ、一書来_ニ于此_ニ之義也。又文之返事依_レ有也。或_ハ古_レ往今来_ト云義有_レ之也。

(一月往状)

春始御悦

神農本草曰、春_ト夏_ヲ為_レ陽、秋_ト冬_ヲ為_レ陰。春蠶也。言_ハ冬悉陰窮、至_レ春万物皆蠶云義也。春始_ハ新改等_ノ字、雖_レ不_レ書春_ト云則早聞也。始_ト春三月九十日間、只春悦_{コヒト}計書則_ンハ、時_レ節不_レ聞。故_ニ始置_テ明_ニ正月_一之義也。

向_二貴方_一先_ツ悦申候畢_{ンヌ}。貴方_{トハ}為_{タル}上_レ云_レ人。又指_二石見守_一也。

富貴万福猶以幸々々。

富_ハ財也、位也。米_{チウ}錢充_テ滿_{シテ}有_二分限_一云貴。又者云高_レ位_一也。万_ハ福_ハ在_レ天_ニ曰福、在地_ニ曰德也。幸甚、道之外_ニシテ善_一事有_ル云。自_レ本得_ヲ道也。不_レ行_レ善而得_レ善、是道_ノ外_ニ而幸_ヒ也。言、富貴_ハ上_二天_一有_レ福幸甚也。

歳

本 11 三左小甚。 14 三左小抑。

割 3 庭訓ヲ三庭訓。 3 制カ三左制。 3 定左宣。 4 后二左後。 5 来ト云義三来之義。 7 也ト三左也。 10 也左歟。 12 限三左限。 12 者云二左者曰。 13 外ニシテ左外。 13 得ヲ三得善左得レ善。 13 幸ヒカ三左幸。 13 富貴ハ三左富貴。

頭★論語八卷目十六二八季氏力扁曰、陳亢問「白鯉魚」曰、子亦有ニヤ異聞乎。対曰、未シ也。嘗独カ之鯉趨而過レ庭。曰、学レ詩乎。対曰、未シ也。曰、不レ学レ詩无以言ト也。鯉退テ而学レ詩。他日又立。鯉走テ過レ庭。曰、学レ礼乎。対曰、未シ也。不学レ礼无以云ト。鯉退而学礼。聞斯二ノ者。陳亢退而喜テ曰、聞レ一ヲ得レ三ヲ聞レ詩聞レ礼又聞ニヤ君子之遠ニ其子ヲ矣。魚八

孔子ノ也。独トハ孔子也。此書モ本レ之矣。詩二八君臣父子五常礼禽獸草木迄有ラスト云コトナシ。皆興醉悉シ備若不レ学レ詩道不レ知卒忽トス、莫レ言三左（冒頭より「遠ニ其子ヲ矣」まで。一行目「子」左子。一行目「独」三左独）。

★礼二八是恭儉莊敬ニシテ立レ身本本シテ可レ学也。人有レ礼則ンハ安。无礼則危。不レ学レ礼无レ立レ身也。故ニ无ニ以立ト云也。★御ノ字ハ天子ノ御事ナラテ書マシキ事ナレトモ日本ノナラ（難読）（五）ナライニテ御字ヲ書也。御製御杯カナラ（見せ消すカ）ン

トテ（五）御聞候（カ）時抑ナント、云事アリ。

★公羊伝曰、春八歳ノ始也。

★漢書志曰、行東陸謂之春也。

★候トハ男ノ辞也。ソロト云ハ女辞也三左。

★畢ハント云ハ少シ未シ也。ヲハンスト云ハヲワツタル事也三左。

★「一 一朱（カ）喜新注曰語辞也左。」 一 唐書二八読様「一ムナリ（五）論語云、朱熹新注曰、抑ハ反語辞也、ソモくトヨム也、唐書「一様也和語ハ澄テ読也）。

三園本

傍 1 「訓」 キン漢音也ノ許運反キン（左）クン吳音也左。 2 「詩」毛一左。 2 「礼」一記左。 5 「古」記古往示今來義也。

7 「蠹」チユン。

頭 * 庭訓トハ論語八卷季氏力篇二陳亢（以下底本参照）。

* 又説玄恵鞍馬ニ御知音ノ十二三ノ御児様御座間玄恵知音メサレシ御少人ヨリ御望ノ故ニ此書ヲ作スルト云也。（底本の成立縁起に關する書き入れの第一条に通じる「翻刻（二）」で紹介。）

* 候ハ（以下底本参照）。

* 畢ント云時ハ少ク未シイ心也。又ト云時ハヲワルト云心也。只一ツ也左。

* 式条ヲ公家ノ書ニ添ル事ハ譬ヘハ武家ヨリ公家ヲシツケテ拵故也（序文追記参照）。

左貫注

傍 1 「往」過去。 1 「來」未來也。 2 「庭訓者」長思无邪 礼忘不敬。 3 「定」（宣）定也。 6 「春」一ト云ヘハ新字改字ハ聞ユル也。 7 「蠹」ハタラク。ウコク。ムクメク。 11 「富」財也。「貴」位也。禄是富、位是貴。 11 「幸甚」惡ヲ行ヘドモ歸善幸ト云也。「甚」近也。 14 （抑）朱熹反語ノ辞也。

頭 * 論語八卷季氏力篇云（以下底本参照。 3 才の上欄ではなく2ウに書き入れ）。

* 状ノ書様始ヲ指四ツ伏置也。墨次ハ二字サガリ三字（「サガ」カ）リニ可続也。三行ノ内ニ同字不書、不成就也。

* 候ハ（以下底本参照）。

* 畢ント云時ハ（以下底本参照）。

小中村本

割 2 右名「一」ト者、本ト于伯鯉魚趨庭而聞詩礼之訓也。鯉魚過一已二度也。故謂之一ト。鯉魚童蒙而受之聖父之一

一。蓋此書亦為示童蒙之人也。分十二月製_{コト}之、文章者記時節之風物故也。往来_ハ者辭_ヲ往来歟。或一書往_ニ于彼_ニ、一書来_ニ于此_ニ之義也。或亦古往今来之義也。

割7 漢書曰、春夏為_レ陽、秋冬為_レ陰、春蠶也。言、冬悉陰極、至_ニ春_ニ万物皆蠶之義也。春始_ニ新改等_ノ字雖_レ不_レ書、春_ト云則聞也。始_ハ一季有_ニ九十_ノ日_ニ、春悅計書則、時節不_レ聰。故曰始_ト明_ニ正月_ヲ之義_{ナリ}。

割10 貴方_ト曰_ニ為_レ上人_ニ、或指_ニ石見守_ニ歟。

割12 富財也。曰_ニ米錢充滿_ニ也。貴_ハ位也、曰_ニ高官高位_ニ也。万福在天曰_レ福、在地曰_レ德也。幸甚_ハ道_ノ外有_レ悅云也。種_レ德得_ハ善者道也。不_レ種_レ德而得_レ善者是幸也。言_ハ富貴_ノ上有_ニ天_ニ福幸甚也。

3ウ

初朝 拝者、

抑決前称后ノ辞也。朝 拜_ハ天 子_ハ必天 明_ニ冠_ニ、四方ノ星_ヲ拜_ス々_レ天_ヲ云。又臣_{トシテ}君_ニ為_ニ出仕_ニ一_一。愛_ハ對_ニ石見守_ニ謂也。広_ク可_ニ心得_ニ也云云。

以_ニ朔日元 三ノ次_ヲ、可_ニ急申_ニ之_レ処_ニ

朔_ハ蘇也。生也。革也。推_テ而可_レ知。晦_ハ灰也。灰_ハ死也。一月終_ニ死之義也。日 月地 神第三天津彦火々瓊々杵ノ尊御宇_ニ始_ル也。元_ハ始也。旦_ハ云也。三_ハ歲月日ノ始也。用_ニ三 日_ニ、上 古_ハ正月ノ祝_ヲ廿日及也。自_ニ中比余_ニ長_ニ故_ニ、十五日又_ハ三ヶ日_ニ縮也。急_ハ者君_ニ礼_ヲ早_ク也。

被_ル、駟_ニ催_サ人々子日ノ遊_ニ之間、

人々_ト公 卿殿上人也。子日_ハ正月初子也。接家_ニ初_ノ子_ニ出_ニ南都_ニ為_レ不_レ犯_ニ風 雨雪霜也。又泰山府君此ノ日祭_ル也。泰山

府君^ハ南 極寿星老人ノ事也。此星^ハ福祿寿ノ掌^ル三也。故祝^テ初ノ子ニ祭也。或初子ニ祭^{コトハ}、天子^ハ庶民ノ上、子^ハ十二支ノ上也。故^ニ比^テ天子ニ祭也。祭^リ過公卿各自禁中出^レ東ニ詩歌管弦ニ遊也。仍老松摩^レ腰、又三尺ノ稚松^ヲ根引^{ニシテ}五色糸^ヲ以帚ニ結、摩^リ身掃^ニ座敷也。是可保^ツ萬歲齡^ヲ義也。子曰詩曰、倚松根^ニ摩^レ腰^ヲ千年ノ翠滿手。同歌ニ云、子曰^{スル}野辺^ニ小松^ヲ无^リ千代ノ様^ヲ何^ヲ引^{マシ}。又自正月一日七日^{マデ}日定也。鶏、

「掃」木偏。

本8遊「三遊」。

割2后^左後。2子^ハ左子^ハ。2星^ヲ拝^ス左星^ヲ拝^シ。2天^ヲ云々左天云々。2出仕「」^ヲ三左出仕云也。然^ヲ（左然モ）。3広^ク三広^モ。5終^ニ左終^リ。5字^ニ左字^ヲ。6旦^タ三旦^ヲ左旦^ヲ。7縮三縮^ル左縮。7急^トハ者三急^トハ左急^ハ。9公卿左公家。9為^カ三左為。9君三左君。10三三三。10故左故。10祝三悦。11比^ニ左比^シモ。11二三左用。11稚松^ヲ左稚松。12齡^ヲ左齡。12辺^ニ左辺。13无^リ左無^ハ。13一日左一日。

傍5「革」(左)アラタムルトヨム也。9「接」(左)マチワル。

頭*志賀寺ノ聖人ニ祭ノ院ノ后ヲ御覽アツテ恋ノ病トナリ玉フ時ニ祭ノ院ノ后ヲ寺へ登セ御申アル時聖人ノ后ノ手

(「ヲ」カ)取テ歌云、初春ノハツネノ今日ノ玉帚手ヲトルカラニユラクタマノヲ三(ニ参照)左(「后ヲ」と「御覽」の間に「染殿寿命」^{タマシ}と有り)。

*正月初子之日玉掃^マヲ百官ニ被下。融ク玉ノ緒トハ延命千秋万歳ト云事也三。

*家持歌云、子曰ヲ読メリ。ハツハルノ子曰ノ今日ノ玉ハワキ手ニトルカラニヲ玉ノヲ三(玉ハワキ手ニトルカラニユラクタマノヲ左)。

* 管丞相詩曰、倚松樹以引^{ナハ}腰^ヲ（「5」倚^ニ松根^ニ以^レ摩^レ腰^ヲ）習^ニ風霜ノ難^{コトヲ}犯^ス、和菜羹（「5」和^ニ菜羹^ヲ）以^レ啜^ハ口期^ニ氣味之^ヲ克調^ス。

* 玉（帛^カ）一説ニ八山鳥ノ羽ヲ五色ノイトヲ以テ結イ天子ノ后キ正月初子ニ簪ヲナテ玉フ。是ヲ玉帛ト云ヘリ。此説好歟左。

三園本

傍 2 「決」終也。2 「称」生。

頭 * 正月初子之日（以下底本参照）。

* 家持作子曰、ハツハルノ（以下底本参照）。

* 又説ニハ、シガ寺ノ聖人八十二ノ御年ニ条ノ御后ヲ御覽シテ是ヲ御恋アリ。后御病アリ。二条殿聞召テ后ヲシガ寺ヘ御上セアル。其時聖人后ノ手ヲ取テ歌曰、初春ノ子日ノ今日ノ玉掃キ手ニ取カラニ一緒。后ノ返歌ニ云、イサ、ラハマコトノミチニカナイナハ我（「ヨ」^カ）トモナヘユラクタマノヲ。其ヨリ后ノ御病イナヨリ給ナリ。

左貫注

傍 2 「決」サタム、サクル。（左）アフル。コトウル。4 「元」歳ノ始、月一、日一、故元三ト云也。

頭 * 志賀寺ノ（以下底本参照）。

* 返歌云、イサ、ラハ誠ノ路ニ契イナハ我共ナイユラク玉ノ緒

* 家持作（以下底本参照）。

* 玉掃トハ一説云（以下底本参照）。

小中村本

割^二抑決前称後之辞也。朝拜^ハ天子^ハ必天。明^三冠^シ。拜^二天地四方^也也。又臣。下君^ニ為^二出仕^一曰也。爰^ハ对^二石見守^一謂義也。広^モ可^二心得^一也。

割^二朔^一蘇也。生也。言、一月已死而又生之義也。日月^ハ地。神第三天津彦火々瓊々杵尊御宇始也。元^ハ始也。三^ハ歳月日^三也。又^二元^三三^ハ者、上古^ハ正月祝廿日及為也。中古^ハ縮^二十五日^一。今^ハ以^二三ヶ日^一專祝也。急^ハ君礼^ラ早也。

割^二9人々^一公卿殿上人也。子曰^トハ正月^ノ初子也。接家^ニハ初子^ニ出^二南都^一。祭泰山府君^也也。即南極寿星老人是也。為^レ不^レ犯^二風雨雪霜^一也。祭過^ハ公卿天上人、自禁中^ニ東出用^二詩歌管弦^一遊也。又三尺之松^ヲ根^ニ引^{シテ}、五色糸^ヲ帶^ニ結也。摩^レ身^ニ坐敷也。是比^二松齡之義^一也。子曰詩曰、倚松根^ニ摩^レ腰^ニ千年翠滿^レ手。同歌曰、子曰野辺^ニ小松^ノ无^リ千代^ノ様^ニ何^ヲ引^{マシ}。又正月從^二二日^一至^二七日^一日定也。鷄

4才

狗、猪、羊、牛、馬、人、八日曰穀日。見^二荆楚記^一。或書^ニ云、七日^ヲ人日^ト云^ハ五節^ノ初也。即為若菜^ノ節^ニ。此日以^二七種^一菜^ヲ作^レ羹食^レ之則、人无^二病患^一也。七草^ハ芹、薺、勤荆、箱平、仏座、田草、須々白、此^ハ七草。又芹^ヲ薺^ヲ五行、田平子、仏座、須々子、蕙^ニ是^二七草^一也。子曰^ト与^二人日^一用^{コト}一^ニ自^二中古^一以来也。又正月七日、三月三日、五月五日、八月一日、九月九日、皆為^二惡日^一。此日調^二伏^ス蜚尤^一也。

乍^レ思延引^ル。似^二谷^一驚忘^二檐^一花^一、

言^ハ鶯依^二我宿寒^一、人家^ハ暖^ニ而花咲^ラ似^レ忘。谷為^レ可^レ謂^二寒^一。花唐^ハ李也。日本^ニハ桜^ヲ云。爰^ニハ梅^ヲ云也。

苑^ノ小蝶^ノ遊^中日^ノ影^上。

戲^レ花可^レ遊^二之蝶^一。依^二苑寒^一日^ノ尋遊也。日^ノ景^ト不^レ可^レ読。似^二景^ノ字^ニ日景^ト可^レ読也。言^ハ点^ハスル^ル則、景之字^ノ心、日尋字也。總^{シテ}

小蝶ニハ用「胡」字。愛ニハ小ハヲカシ

頗背ニ本意候畢。

頗ハ不正之意也。

将又、楊弓、雀小弓勝負、

楊弓説多。唐ノ玄宗始。宗雖愛三千人后妃、楊貴妃一人寵愛也。余ノ妃妬貴妃、作小弓射貴妃云、為調伏也。又楊妃春之遊、用小弓也。是人謂之楊弓。此時、的ハ云、棚。面、桐木ヲ以作也。雀、禽也。禽鳥ノ総名也。言、此遊ハ禽ヲ立物ニシテ射

「ニ」の右に「ノ」。

本10本意ニ本意。

割1云ハ左曰。2无左無。3蕙ニ蕙タナツル（左「ヨク」、欄外「蕙イ」）スヘシロ左蕙。3中古ニ左中古。6為可左為可。6桜云左桜曰。

6云也左云。8寒ニ左寒。8日晷字三日晷ヒカケ（左「ケウ」）字左晷字。13余ノ妃左余。14面ニ左面四寸。

傍4「」白露ノ節。

頭★歌云、セリナツナ五行ハコヘラ（左仏）ノ座シラナ（左傍注「土筆」）タツル（左タナツル、傍注「蕙草」似也）此ヤ七草左。又芹薺五行田平子仏ノ座須々白箱平（等カ）此ヤ七草。

★子芹、丑薺、寅五行、卯箱平、辰仏座、巳土筆、午蕙、未土筆、申仏座、酉箱平、戌五行、亥薺ニ左。

★賈嶋詩云、鶏既鳴テ忠臣（左忠臣待）旦、鶯未レ出遺賢在谷左（傍注「旦」まで）。

★日影トヨムハ惡也。ノトヨメハ影ノ字ハ陰ノ字ニ似、ヒカケト読ハヨキ也。言ハ、点ヲ略スル則ンハ影ノ字ハ晷ノ字也。言

ハ、花ニ戯ヘキ蝶力下ハ注ニミエタリ。

* 楊弓トハ貴妃力春遊琴ノ緒ヲツルニ力ケテ絃^(マ)ノ兩ニ角ヲツカウ也。弓ヲヨ／＼トアル様ニ作ル也。射時ハ不^レ立、左ノ膝ヲ立テ弓ヲ目ノトヲリニアテ射ル也^左。弓ヲサキニシテ絃ヲ前ニスルト云ハ非也^三。

* 旧抄ニ曰、楊弓ニ弓ヲホソメ與ノ中「一」射^(カ)ル也^三。

* 「一」鳥モアレト「一」居「一」モノナリ「一」

三園本

傍 3 「蕙」^{ヲツル} 故仁也。

頭 * 子芹 (以下底本参照)。

* 楊弓トハ貴妃ヲ調伏シテ射ルトハ非也。貴妃力 (以下底本参照)。

* 旧抄云、楊弓ハ弓ヲホソクシテ與ノ中ナトニテモ射ル也。

* 又云、楊弓公家之為^(カ)也。今之弓ノ書ニハ楊弓与雀小弓ハ的此之様不記。如何トナレハ无武家之書^(ハ)也。非武家之者^(ニ)也。

* 棚トハ私云、ツイタテ障子ノ如ニシテ、ナカラハ皮ヲ以テ張テ中央ハ桐ヲキリメニキツテ面四寸のニシテ射也。

* 先弓之起ハ自^レ天竺御多羅枝ト云ヨリ起也。我朝ハ^(左)日本ニハ神武天王ノ時ヨリ始ナリ。大和国^(左)和州イコマカ岳

ニ居タル安日長髓退治ノ時ヨリ起ナリ (4ウに続く) ^左。

左貫注

傍 5 「谷鷲」(左) 自譬喻也。12 「将又」マタ／＼心也。12 「楊弓」町ハ七間也。(左) 楊弓一尺八寸也。「楊」様ノ字モ書也。其心ハ、タメシ弓トヨム也。與中ニテ射也。12 「雀」コアテトヨム。長一尺二寸也。14 「面」(面四寸)「厚サ二寸也」。

頭 * 奈良ノ都ニシテ檐ニハ梅ト云アリ。新年ニ鷲来テ轉^レ句。文字ニ写シテ見レハ三十一字ノ歌也。初掲^(カ) 毎朝来不相還木栖。

* 歌云芹ナツナ（以下底本参照）。

* 子芹（以下底本参照）。

* 楊弓ノ八寸以二概（抄）枋（抄）作也。管与羽ノ間ニ伏木賊本作ルハ椀也。

* 楊弓、琴ノ絃ヲ弦ニシテ兩端ヲツカウ也（以下底本参照）。

* 弓之起八天竺ヨリ（以下三参照）。

小中村本

割1 狗猪羊牛馬人、八日（ハ）曰（ハ）穀日（ハ）。見（ハ）荊楚記（ハ）。又曰、七日（ハ）曰（ハ）若菜節（ハ）。五節ノ初也。此日以（ハ）七種菜、作（ハ）羹食（ハ）之則、令（ハ）人無（ハ）病（ハ）患（ハ）也。七草（ハ）芹（ハ）薺（ハ）五（ハ）行田平子仏座須々子蕙是（ハ）七草。又中古以來不（ハ）用（ハ）初子。只以（ハ）人日（ハ）為（ハ）祭遊等（ハ）也。又五節者正七、三々、五々、八朔、九々、此患日。故為（ハ）祝言（ハ）。

割6 言（ハ）鶯依（ハ）我宿寒、忘（ハ）人家（ハ）花（ハ）咲（ハ）也。花（ハ）唐（ハ）曰（ハ）牡丹或李（ハ）也。日本（ハ）曰（ハ）桜也。爰（ハ）可（ハ）言（ハ）梅也。

割8 戲（ハ）花遊之蝶依（ハ）苑寒（ハ）遊（ハ）日影（ハ）也。小蝶ノ小ノ字作（ハ）胡。

割11 頗（ハ）不正之心也。

割13 楊弓（ハ）唐玄宗（ハ）始（ハ）。雖愛（ハ）三千人后妃、后（ハ）寵楊貴妃一人（ハ）也。故余（ハ）妃妬貴妃作（ハ）小弓（ハ）。射貴妃調伏之箭也。曰（ハ）

之楊弓（ハ）也。一貴妃春遊（ハ）用（ハ）小弓（ハ）。故曰楊弓（ハ）矣。此時（ハ）的曰棚。面四寸以（ハ）桐木（ハ）作（ハ）之。雀（ハ）禽也。言此遊（ハ）禽（ハ）為（ハ）立物（ハ）射之。

4ウ

也。羿（ハ）三十二樣（ハ）雀（ハ）弓（ハ）有（ハ）。雀（ハ）字弓（ハ）法（ハ）雀（ハ）讀也。其時者、禽（ハ）不（ハ）可（ハ）限也。何（ハ）立物（ハ）而射也、云々。

笠懸小串会

頼朝御時上野新田庄^{ニテ}的^マ被射。々手ノ内笠^ヲ被風吹落。頼朝面白、其射^ヨ被仰。即彼被射^レ笠遊也。自是始歟。今のハ以草作也。馬場一通堀^マ溝^ミヲ、馬^ハ其^ハ溝^ノ中^ヲ令走也。如流馬^{ヤフサメ}也。又最初^ハ懸^レ笠射也。後用^ニ皮的^也。射手八十騎也。小串^ト云^ハ的^ヲ少^ク張^リ串^ニ差^ツ棚^{アツチ}差立^{ツル}カ也。又的^ヲ三張射^モ有也。又三^ノ生^ノ物^ヲ画^モ有也。又ハ^ニ付^レ糸^ヲ串^ニ結^リ付、上^ノ方^ニ付^ル糸^ヲハ上^ノ横^ニ本^ニ差也。左右^ノ糸^ハ棚^ニ差也。又大^ニ、少^ク結^ニ縁座^ニ串^ニ差^ク的^ノ前^ニ的^上張^リ立也。射手ノ数作^ニ小串、両方置。射手^ヲ三分^ニ番^ニ射也。一番衆^ニ的^ニ射^{タル}時、串^ヲ一^ツ立。當^ニ縁座^ニ則、二串^ヲ立也。一番衆^ニ番衆^モ大^ニ將其^ノ内^ニ有。大将^ノ射^ヘ的^ノ當^ニ一矢^ヲ二^ニ當^ニ串^ヲ二^ニ充^ニ立也。縁座^ニ當^ニ況^サ數^多也。一番終^テ二番衆^ヲ出射也。其時如^ニ一番當^ハ即前串^ヲ拔棄也。一番^ノ數程^ト當^レ則、二番^ノ者負也。残^リ串數錢^ヲ一番衆^ヲ取也。又一番衆、前矢數串^ヲ皆拔棄又串^ヲ立也。是一番勝也。一番立所^ノ串數錢^ヲ出也。両方將軍^ト与^ニ將軍^ト負^ブ勝^ニ出^レ錢也。其外者一人充^ニ出^ニ錢也。小串ノ画^ハ雁^ヲ書也。雁^ニ當^ニ勝^{ナリ}也。

草鹿、円物ノ遊、

割^ル1雀^メ字^左雀^ノ字。1雀^ト三^ニ左雀^ト。4今^ノ的^ハ左今^ハ的^ヲ。4草^三左草。4其^ヲハ三^ニ左其。4後^三左后。5少^ク(15)少^{ホク}。5差立^{ツル}(カ)三差立^左差立^立(5)差立^立『新撰庭訓抄』さしたつる。6本^三三本。7一番衆(左「二モ」三一番衆^{ニモ})。8射^ハ三左射^ル。8當^ルヲハ左當^ル。8當^ニ三左當^ニ。9三左不。9皆拔棄^三皆拔棄^レ。10負^ブ勝^ニ三負勝^ニ左負勝^ニ。10充^ツ左充^ツ。頭^ホ★「一也。的^ハ八皮^ヲ以^テ一」一ノ如^クイル也。上古^ハ的^ヲ笠^ノナリ^ニ張^テ射^ル也。故^ニ云^之(也^カ)。其后頼朝笠懸野^ニテ的^ヲ射^セ(三射^{サセ})ラル、時、赤城山ノ風^ニ吹^レテ笠力、ノケカブト^ニ着^ナシタル^ヲ却^テ面白^ト云^テ、其ヨリ后^ニ笠^ヲノケカフト^ニ着^テ射^ル也。其^ニ依^テ笠懸野^ト名^{クル}也三。

*小串ト(ハ脱カ)的ヲ細ク張テ串ニサシテ南(ニ脱カ)山サス也。的ヲ三ツサスモアリ。又ハ的ヲ一ツニシテ三ツノ生物ヲ画ク也。的ニ系ヲ三ツ付テ系端ニ串ヲ付テ上ノカタニツリタル系ヲハ上ノ横木ニサシ左右ノ系ハ左右ノアツチニ指ス也。(図)此のノ内ニ三ツノ生物ヲ画ク。上ハ雁ヲ画ク也。三ノ生物ノ間ヲモカメ(左リト)云也。是ニ射アテタルヲ勝ツト云也左。

(図)



*土御門御即位四年シテ(八十三代)「ニ」の上に「シテ」重ね書き頼朝逝去也。同御宇ニ建仁寺立。即位ノ四(四)年メ也。同富士牧狩始ル也。是ハ非也。后鳥羽院「一」タリ。故ハ曾我「一」建久四年ニカタキヲ「一」討(四)死ニスル也。

三園本

傍12「円物」大弓ノ遊也。

頭*(承前)其時ハ弓ノ長大弓トテ一丈一尺アリ。其后ハ万太郎義家異国退治ノ時縮之、御多羅枝トテ八尺一寸ニスルナリ。今ニ残り八寸(五)尺ノ弓モ各有ヘシ。此ニハ不見ナリ。(左リ。異本ニハ八寸ヲ八尺一寸ト有也。)其后七尺二寸(左寸ニ)縮ナリ。其後半弓ニスル也。其后又不思議弓トテ(左楊弓)二(左一)尺二寸二縮ナリ。其后又神秘弓トテ六寸二分二縮ナリ左。

*楊弓ノ的ヲ八棚(棚ト云カ)ナリ。面四寸二桐ノ木ニテ作(カ)也。

*笠懸ハ馬上ノ大弓也左。的ニハ皮ヲ以テ張テヤブサメノ如ク射也。故ニ云也。其后頼朝ノ笠懸野ニテ(以下底本参照)。

左貫注

傍2「笠懸」神代之時異国鬼群退治之時九州箱崎ノ浦ニテ射始也。6「(的)」此善也。的ハ三寸二寸面五寸二結、縁座差

串也。

頭★異二八笠懸八神武時異国鬼退治之時九州筑前国箱崎之浦浜ニテ遊ト云説也。

★図(カ) ホンニサス口ニ云、此のノ中ニ三生物ヲ画ク。上八雁ヲ画也。三ノ生物ノ間タ、モカリト云也。是ニ射当タルヲ勝ト云ナリ。

★円物トハ弓ノ遊也。鞆ナトノ様ニシテ系ニテサゲテ射也。此ニ当テ系メクリ、クル／＼トマクル也。

小中村本

割1也。又雀字彙三十二様弓法ニ読^{「アサト」}雀也。故ニ曰^{「アサト」}雀小弓ト也。

割3 頼朝時上野新田庄^{「ニ」}的被射。々手ノ内笠被^{「レ」}風吹落。頼朝面白有^{「ニ」}其射ト覺ハ則射^{「レ」}之。自^{「ハ」}是笠懸始也。的^{「ハ」}以革作也。笠懸^{「ハ」}如^{「ニ」}今ノ流馬^{「ヤ」}。射手十騎也。小串^{「ハ」}的^{「ハ」}少^{「ハ」}張串^{「ニ」}差立^{「レ」}棚也。又的^{「ハ」}三張射^{「モ」}有。一^{「ニ」}ハ有三ノ生物ヲ画^{「モ」}也。又小串トハ者射手ノ数作^{「レ」}串置^{「ニ」}兩方^{「ハ」}。射手^{「ハ」}三分也。一番衆的^{「ハ」}射中^{「ル」}時、串^{「ハ」}一立。又的^{「ハ」}前^{「ハ」}有^{「ニ」}縁坐^{「ハ」}、中^{「ハ」}之則串^{「ハ」}二立也。縁坐トハ的^{「ハ」}大張縁坐^{「ハ」}少^{「ハ」}結、立^{「ハ」}的前^{「ハ」}也。又射手ノ内^{「ニ」}一番^{「モ」}二番^{「モ」}必有^{「ニ」}大将^{「ハ」}。々々矢中^{「ハ」}的^{「ハ」}則串^{「ハ」}二立。一矢当^{「レ」}二則一手中則ハ串^{「ハ」}四立也。余人不^{「レ」}然。又大。将矢中^{「ニ」}縁坐^{「ハ」}則、一矢^{「ハ」}四^{「ハ」}充立也。一番衆終、二番衆出射也。二番衆ノ矢中^{「ハ」}則、一番衆ノ之立^{「ハ」}串^{「ハ」}拔也。一番^{「ニ」}為^{「レ」}立串^{「ハ」}皆不^{「レ」}拔則、二番衆負也。串之残^{「ル」}数錢^{「ハ」}取也。又二番衆前^{「ハ」}一番衆^{「ハ」}為^{「ニ」}射立^{「ハ」}串^{「ハ」}皆拔、又串^{「ハ」}立則ハ、二番之勝也。是モ串ノ数取^{「レ」}錢也。兩方將軍与^{「ニ」}將軍^{「ハ」}成勝負也。的^{「ハ」}之画^{「ハ」}ハタ^{「ハ」}雁^{「ハ」}也。中^{「ハ」}雁則勝^{「ト」}。

5才

草鹿^{「ハ」}仁王八十三代土御門御宇、正平年中頼朝富士野御狩也。此時牧狩為^{「ニ」}稽古^{「ハ」}。鹿^{「ハ」}藁^{「ハ」}茅^{「ハ」}等^{「ハ」}以^{「テ」}作^{「リ」}、无^{「ニ」}足^{「ハ」}自^{「ハ」}筒上計也。頭^{「ハ」}向^{「ハ」}棚、尾^{「ハ」}向^{「ハ」}射手^{「ハ」}方^{「ハ」}習也。无^{「スル」}コト^{「ハ」}足草深^{「ハ」}而鹿^{「ハ」}足不^{「レ」}可^{「レ」}見故也。背見事^{「ハ」}形也。円物皮^{「ハ」}以^{「ハ」}円^{「ハ」}張也。北^{「上」}

御所の也。何モ布皮ヲ棚トハ。布皮色々青ク七野ノスルト云ハ。又的之表ニ円相ヲ回シ裡ニ鬼ノ字ヲ書也。的ハ蚩尤ノ象目也。南山ニシテ蚩尤ヲ攻伏也。故ニ南山ト書、南山ト可レ読也、云云。

三々九ノ手夾、八の等ノ曲節、

九手トハの庭出時、矢ニ手持出、一ヲハ立ニ箭台、残ニヲハ以手ニ挟ニ三度射也。其則九度手挟ム也。此内三度目ニ矢一ツ射残。是ヲ云ニ八の也。八的、或英、扇紙半、楊葉、疊紙、小刀、梗槩、下針、是八也。是ヲハ所ニ置也。小笠原流ニハ秘也。鉋懸八枚ヲ四枚充馬場ノ左右ニ立。行キ歸ニ左右ヲ射也。曲ハ三進退也。

近日打続經ニ營ス之。

營一切之事也。

尋常ノ射手、

八尺ヲ曰尋。過レ尋ニ曰常。曰ニ言ノ長也。蓋。又尋常ハ唐書ハ唯常ノ心也。又爰ニハ者勝射手及也、ニ云。

馳挽達者

馬与レ弓可懸也。

少々有ニ御誘引ニ思食立給者本望也。心事雖

割 1 正平左正治。 1 御狩左御狼。 1 无ニシテ 3 无ニシテ左無。 2 无スルト左無。 2 背見事ハ (北) 3 背ヲ見スル事ハ北左背見スル事北ル。
3 棚トハ 3 左棚ト云。 3 云ヘリ 3 云リ左云テリ。 3 表ニ左表裡。 4 云云 3 左 (無し)。 6 三ヲハ以レ手ニ左 3 以手。 6 則 (6) 則 [5]
時ハ。 7 英左英。 7 下針リ左下針。 7 所口 3 左所。 7 秘左秘スル。 10 營 3 營。 12 勝 3 勝ル左勝。

傍 9 「經營」イトナム。

頭★黄一木工人タノ作り玉フ也。

★毛詩文王靈台篇曰、経^レ之^ヲ營^レ之、不日成^レ之云也^三左^{（三）}「不」以下無し、左^左「也」の後に「兩点アリ」が続く。

★及之字上ニ有ル時ハヲヨブト読、下ニアル時ハマテト読ムヘシ。

三園本

傍15「誘」サソイ。ス、ム^左。

頭★三々九手一トハ三処ニ的ヲタテ三度ニ射也。一人也。ハ的トハ箭台ニアテ、九度ヒ目ヲ弓ノウラ筈ニテツキテトアルヲ曲節ト云也。酒ヲ九献ト云モ此弓場ニテ酒ヲ三々九飲也^左。

★経営トハ（以下底本参照）。

左貫注

傍5「三」三々九ノ拜（手^カ）挟ミト云カ吉。其故弓法ノ大事曰、初三中三下三トテ品也。初二中三ニハ的ト云字ニ魔ノ字ヲ書也。下三八的ヲ書也。矢数ハ三ツ充也。此合テ三々九也。又云、三々九ハ三手ヲ矢ヲ一筋ヲバ矢台「一」残ル三スヂヲ手ニ夾テ三度射ル也。故三三々九。酒ヲ九献ト云モ自是始也。此弓ノ場ニテ酒ヲ三々九度ノム也。5「曲節」弓也。アタルベキ処ニアタル也。15「誘」一ハ導也。15「思」ヲシフ。15「食」ス、ム。15「立」コシラウ。

頭★曲一春ハツ、ジ、夏ハトコナツ、秋ハ桐、冬ハ忍。又春花夏柳秋楓冬椿也。

★経営トハ毛詩二（以下底本参照）。

小中村本

割1草鹿仁王八十三代土御門御宇正平年中頼朝為富士野牧狩稽古^一、以^レ藁作^二鹿之筒^三上^ヲ。^頭向^レ棚自^二尾方^三射^レ之習也。不^レ作^二鹿足^三草深而不^レ可^レ見^ヘ故也。背見事北形也。円物^ト以^レ革所^レ作的形也。何布皮^ヲ棚^ト。一^ニハ的^一面^三回^二円相^一、

裡_ニ書_ニ鬼字_ニ也。總而的_ハ蚩尤象_目也。黃帝於_ニ南山_ニ攻_ニ伏蚩尤_一。故書_ニ南山_ト可_レ読_ヲ棚也。

割 6 _九レ_ハ的場_ニ出時矢_一 手持出。一 _ヲハ立_ニ矢台_ニ、残_三ヲ夾_レ手_三 度射也。三々九也。此内三 度目_ニ矢_ヲ一射_一残。曰_ニ之_ハ的_一也。或_ハ的_ハ曰_ニ英、扇、紙半、楊葉、疊紙、小刀、梗槩、下針之_ハ也。小笠原流_ニ秘也。飽懸八 枚_ヲ四 枚充立_ニ馬場_ニ之左右_ニ。行_一歸_ニ射_ニ左右_ヲ也。曲_ハ三進退也。

割 10 當_ニ一切之事_一也。

割 12 八尺曰_ニ尋_一。過_レ尋曰_ニ常_一。蓋曰_ニ弓長_一也。又有常_ノ心。爰勝_ル射手_ト可_ニ心得_一也。

割 14 可_レ懸_ニ弓_ニ与_レ馬_一也。

傍 15 「誘」(左) サソウ。ス、ム。

5ウ

多_レ、為_レ期_ニ参会之次_ヲ、委_ク不_レ能_ニ腐毫_一。

腐_ハ年比_ニ不_レ及_レ申義也。又禿筆之義也。又筆名也。

恐々謹言

敬白_ハ自_レ謹言_一上也。又頓首_ハ至敬恭也。墨黒_ノ真_ニ書_ハ賞翫也。恐々_ト書事、自_ニ俗家_一出家_ハ恐々敬白_ト可_レ書。其余_ハ真早_、行_、上中下有_レ。被官_ハ恐々不_レ可_レ書。恐々謹言_ノ字早_ニ可_レ書。

正月五日

自_ニ恐々書_ニ三行奥_ニ書。

左衛門尉藤原

官位唐名等在ニ職原。官^{ミヤ}姓^ノ上^ニ書^{コトハ}官^{ミヤ}賞^{ケル}歆^{ハシ}之義也。藤原^ノ姓^ハ仁王三十九代天智天王ノ時、鎌足大臣賜^リ藤原^ノ姓^ヲ也。判貴^ハ右、卑^ハ左、同輩^ハ下^ニ可^レ書。

謹上

謹上ハ賞翫^ハ自^ニ日付^ニ一字上可^レ書。同輩^ハ日^ニ付^ニ双^テ書。卑^ハ一字下可^レ書者。名字書^モ少、料紙端^ニ可^レ書。位事^ハ者可^レ書。同上^ニ也。

石見守殿

殿ノ字被_レ官等ハ早_ニ可_レ書。上中下有_リ。内封ノ事、隱密_ノカ_ニ狀_ハ來_マ紙略_{シテ}封也。其上_ニ名字官計_{可_レ書也}。狀上包之事、上下ノ封様、上短、下長也。上書_ハ至賞_ニ翫_ラハ肩_ニ書_ヲ。縦_ハ進上小野大和守殿御宿所藤原秀勝、裡_ニハ新里紀六十_{可_レ書也}。官途_ハ姓_ヲ不_レ可_レ書。官与_ニ名乘_ニ面_ニ可_レ書。裡_ニハ名字計_{可_レ書}。常賞翫_ニハ

割2申 三左申。 4黒^{クロ} 三左黒。 4家^ハ 左家^ハ。 5早左草。 5早^ニ 左草。 10貴^ハ 左賞^ニ。 10卑^ハ 左卑^ニ。 10輩^ハ 左輩^ニ。 12謹^上 上^ハ。 賞翫^ハ 左謹^上 上^ハ 賞翫^ニ。 12上^上 上^上。 12 三左也。 12少^少 少^少。 12可^上 同上^ニ 可^上 同上^ニ。 15密^ノ 三左密。 16翫^ハ 左翫^ニ。 16新里^{新里} 左新里^{新里}。 17面^ニ 三而。 17裡^ニ 三裡^ハ。 17常^三 左常。

傍 2 「禿」 ツフシ。

頭々藤氏八仁王卅九代天智天王時キ 鎌足大臣始賜藤原一ヲ（三「鎌足」以下無し）。鎌一ノ母月二（三左自三）玉門藤生、日本国二蔓（三左蔓）ハヒル 花笑見懷妊生（三花笑ト夢二見テ懷妊シテ生ム左喜笑見懷妊ス）。七日云（三七日ト云二左七日ト云）、白狐加レ鎌来テ置一枕上。仍号二鎌子ト。天智ノ時ノ人也。其先（左「仍」以下無し）、天兒野命末也。入鹿ノ大臣ヲ誅也三（「入鹿」以下無し）左。

三園本

頭* 或曰、藤原ト八仁王（以下底本参照）。

* 大八相当從六位上。唐名金吾校尉。小八相当正七位上左（傍注）。

* 正六位上。守ノ唐名八刺史、使君、宰刺（吏^カ）、牧宰、国宰。

* 親王ヲ曰^ニ大守^一。

左貫注

傍 6 「正月」 トントノヤ／＼サキツチャウトント、ハヤシ西天ニ義式帰東山柏子テ種々物ヲ焼也。女八櫛針疊紙帶年中ノ祈禱也。正月異名履端、睦月、肇歲^{ムツキ}、晦^{ムツキ}。

頭* 穴賢ト書ハ上古ノ時、和漢両国未^レ知^ニ家屋^一居^ルニ土窠^ニ恙虫^サ螫^サ人ヲ故本朝往来之書札等ニ相勸テ^ニト也。言、土窠穴賢ク閉塞テ可防恙也。

* 藤原姓、鎌足大臣ノ母自^ニ玉門^一（以下底本参照）。

* 尺素云、新年ノ善哉ハ修正ノ祝肴。若菜ノ醬水^{ミソ}、玉糝羹同也。人日ノ俗義。七穀之烹^ニ粥^一ハ上元ノ世ノ礼也。

* 本朝月令曰、日記云、黄当代蚩尤之時、以此日代斬之。其首ハ上為天狗、其身伏而成蛇靈。是以風俗此日亥時、煮小豆粥而

天狗祭於庭中案土則其粥上疑^②之時東方白 拝長跪眼之終身 病疫（也^カ）。

* 物語ニ云、新里一ト云テ上野ノ国左貫ト云処ニテ此書ヲ註スル也。彼左貫ニ新里ト云名字有ルニ依テ、此ニ書ス定リタル

名ニアラス。当座少人心^一 一タ^②メニ置也。

小中村本

割 2々々ハ禿筆之義也。又筆ノ名也。

割4 敬白、自_レ謹言_一上也。又頓首_ト書_モ至_一敬義也。墨黒_ニ真_ニ書_一賞_ヲ。翫也。敬白_ハ俗人_ト對_ニ出家_一書_レ之也。其_レ余_ハ真_ニ早_ニ行_ニ有_一上中下_一。被_レ官恐々_ニ謹言_一之字_{早_ニ可_レ書_也}也。

割7 自_ニ恐々_一書_レ之_ニ三行_一與_ニ書_一。

割9 官位_{唐_一}名等具_一載_{誤力}職原。官姓_上書_{事_ハ}官賞_{翫_ニ}之義也。藤氏_{并_{九代}}大智_{御宇}鎌足_{内大臣}始_{給_レ}之也。判_ハ貴_ハ右_{、卑_ハ左}同_{輩_ニ}下_{、可_レ書_レ之}。

割12 賞_ヲ。翫_ニ自_ニ日付_一一字_上可_レ書_也。同_{輩_ニ}日付_ト齊_ク書_レ之。卑_ニ一字_下可_レ書_也。

割15 々字_{被_レ}官_{早_ニ}可_レ書_也。有_ニ上中下_一。内封_ノ事、隱密_ノ狀_ニ略_ニ礼_ニ紙_而封_{。其_上名字_官計_{書_也}也。上_{包_ハ}短_{、下_{長_也}也。賞_{翫_ノ}方_ハ肩_{書_ヲ}。縱_{、進_上松田大和守殿御宿所、藤原秀郷、裡_ニ田原藤太_{可_レ書_也}。有_ハ官姓_ヲ不_レ可_レ書_也。官_{与_ニ}名_{乘_一}面_ニ書_テ裡_ニ名字_{計_{可_レ書_也}。通例_ニハ}。}}}

6才

進_上小野大和守殿御宿所、秀勝_ト可_レ書_也。真_早行_{有_リ}。又狀_上包_ム事、進_上謹_上書_{不_レ可_レ有_也。名字_{計_{可_レ書_也}。但_シ同名_ニ紛_ハ官_{仮_ニ}名_ヲ可_レ書_也。御宿所_{不_レ可_レ書_也。我_{名_ハ}々字_{計_{可_レ書_也}。其_モ同_{名_ニ}紛_ハ、仮_{名_{官_ヲ}}可_レ書_也。名_{乘_{不_レ可_レ書_也}。裡_ニ書_{不_レ可_レ有_也。若_{文_ハ}面_ニ小野大和守殿御宿所_{下_上}裡_ニ新里紀六_{可_レ被_レ書_也、云云。我_{官_名}、乘_{判_{書_{事_{、縱_ハ}}正月_一日_{刑部大輔高秀判_ト}可_レ書_也。无_{官_ナ}氏_ヲ可_レ書_也。縱_ハ文屋_ノ高_{可_レ書_也}。又折_{紙_ハ}捻_{文_ヲ}略_{義_也}。裡_ニ書_{无_也}。進_上謹_上書_{无_也}。日付_ノ下_ニ名_{乘_{判_{、書_也}}也。官_{名字_{不_レ可_レ書_也}。名_{乘_{判_ノ}肩_ニ折_{紙_ハ}限_ミ、名字_{官_{途_{仮_{名_{書_ト}}云_{説_{有_レ}モ}当_{世_ハ}不_レ書_也}。置_{目_ノ}上_{名字_{仮_{名_{書_也}}。名_{乘_ハ}不_レ可_レ書_也。}}}}}}}}}}}}}}}}

(一月返狀)

改年吉慶被^ル、任^ニ御意^ニ之条、先^イ以^テ目出度覺候。

歌道^{ニハ}改年^{ヲタタ}々々^ハ読也。目出^{トハ}言^ハ昔天照大神与^ニ素戔^マ鳥命^マ争^ニ天下時、天照大神^ハ岩戸^ニ引籠給之間、天下七日七夜成^レ暗^{ヤミ}ト也。

此時諸神相談^{シテ}於^ニ岩戸^ノ前^ニ万^ノ樂^ヲ為給時、天照大神面白^ク思食、戸^ヲ少^シ開御覽有^ル、其時^マ太神^マ御日^ノ出^ラ見^ル、諸神喜^ビ

頭 6 年 三 年。

割 1 書不^{（「5」書「ト不」）}。 2 紛^{レハ}三^マ紛^{タレハ}。 2 所^モ左^モ所^モ。 2 我^左我^右。 2 々^三一^左名。 2 紛^ハ左^ハ紛^{レハ}。 3 文^ハ三^ハ文^ハ（左「ナラハ」）左^{ナラハ}。 3 所^下宿^上左^三宿^所。 3 新里^左新田。 3 書也^三左^三書者也。 3 我^三我^右。 3 大輔^左太輔。 4 无^左无^右。 4 三^左秀判。 4 捻^レ三^左捻^レ左^三捻^レ。 4 裡^三裡^右。 4 无^左无^右。 5 仮名^三左^三仮名^右。 5 世^ハ左^三世^右。 7 争^ニ天下^三争^ニ天下^一。 7 夜^左夜^右。 8 前^ニ三^前。 8 三^前神。 8 太^三太^右。 8 日^三日^右。 8 喜^レ左^三喜^右。

頭*ヤ、シバラク日本読也（次項「七日七夜」の右に、左参照）。

* 七日七夜ノ其間久事七万三千三百五十余ケ日也。暗ケツ道ト云モコレヨリナリ（左参照）。

三園本

頭 七万三千三百五十余日ト云。 七^一七^一ト云也。

左貫注

傍 6 「改年」改年^{アラタマ}ノトシ立帰ル朝ヨリ待ル、モノハ驚声。 6 「条」マチ^{ヤ、シハラ}トヨム也。

頭* 七月七日（七日七夜^カ）其間^{イニホ}七万三千三百五十余ケ日ト云。 七^一七^一ト云也。其間一百七年、九万二千四百八十年トシテ^テ暗穴道ト可^レ成。神書二見ヘタリ。

小中村本

割^レ進上何殿御宿所^ト書^テ。我名乗計書也。依^レ人可^レ有^ニ真早行^一。又状ノ上包^ニ進上^一、謹上、書不^レ可^レ有^ニ名字計可^レ書^一。若紛^ハ同名^ニ、官仮^一名^ヲ可^レ書^ニ。御宿所^ヲモ不^レ書也。我名^モ々字計可^レ書^ニ。其紛^ニ同名^ニ、仮^一名官^ヲ可^レ書^ニ。名乗^ハ不^レ可^レ書^ニ。裡^一書無也。若文^{ナラ}ハ面^ニ何殿御宿所^ト書^ニ、裡^ニ我名字官^ヲ書也。我官名^ハ乘判書事^一、日付ノ下刑部大夫高秀判^ト可^レ書^ニ。无官^ナハ氏^ヲ可^レ書^ニ。縦^ハ如^ニ文屋高秀^ト書^ニ。又折紙^ニ裡書進上^一謹上、書无^レ之。名^ハ乘判計書也。名字^モ不^レ書也。或說^ニ曰、折紙^ニ限^ニ名乘判ノ肩^ニ官仮名有^レ書^レ之。当^ニ世^ニ不^レ用^レ之也。

割^レ7歌道^ヲ改年^ヲ々々^ト読也。目出^トハ昔天照大神与^ニ素盞烏尊^一争^ニ天下^一時、天照大神岩戸^ニ籠給間、天下七日七夜成^レ暗也。此時八万々々神達於^ニ岩戸^一前^ニ奏^ニ神樂^一給。天照面白思^レ食、戸^ヲ少^ク開、有^ニ御覽^一。其時天照ノ御目出^ヲ見、諸神喜、

6ウ

目出^{タト}給。自^レ是始也。其時大刀雄尊取^ニ岩戸^一抛^ケ空^ニ、自^レ是天^ニ下明也。其戸信州戸隱^ニ落^{タル}也。故^ニ云^ニ戸隱^一。大刀雄

今ノ常州志津ノ明神是也。

自他嘉幸千万々々。御芳札披見之处、青陽ノ遊宴、殊^ニ珍重候。

青東色也。言^ハ春陽氣自東発之間云^ニ青陽^一也。珍^ハ翫也。爱^ハ二字^{トモ}翫也。念比之義也。

堅凍早^ク解^テ薄^ハ霞忽^ハ披^ケ。

月令曰、春來東風解^レ氷、為^レ可^レ用^ニ青陽^一也。河図曰、崑崙山^ニ有^ニ五水^一。赤水之氣上^リ、蒸^ム為^レ霞而薄^ハ赤也、云々

即^チ可^レ促^ニ拜仕^ヲ之处^ニ

言^ハ遂^ハ拜顔^ニ可^レ召仕^ニ之義也。

自他ノ故障、不慮之至也。

言ハ无^レ故有^レ碍義也。

百手ノ達者、

射手十六人也。言ハ百人勝^ラ云。或的^ラ張^リの面ニ墨^ヲ以テ円相^ヲ三回シ、是^ヲ立^テ弓太郎、弓二郎二人シテ矢数百射、云云。

究竟上手、一両輩可^キ令同道也。但的矢、

節三所也。羽^ハ鶴羽本也。以上三手持事也。染^ハ作一手、白羽一手、重^カ籠一手、以上三手。

幕目等^ヲ 无沙汰憚^リ入候。

幕目一束^ト云ハ廿

「ヲ」の上に「ウ」と訂正力。

本7促^{ウツガス}三促(傍訓後筆力)。9故障^{モノサワリ}左小故障(左「コトサラ」)。13可^キ令同道三可^レ令同道。15等^ヲ三等。15无^ハ左小無。

割1出^タト左出。1大三左太。4春三左春。4自東三左自東。4翫^モ也三翫^{ナリ}也左重翫也。4翫^フ也左翫^{ナリ}。6為^キ三左為。10

无三元左無。12勝^{スル}左勝。12大三左太。14鶴羽本也左鶴^ガ羽本也。14重^カ籠^ノ左重^{オモ}籠(左「ヲモヤ」)。

傍6「五」一ハ五色也。14「重」(堅)ノ字ヲ書ヘケレトモ此^(抹消力)。籠^カハイカニモ重高野籠如ニシテヲ(モ)キ(故)二

重ノ字ヲカク也(「5」)。

頭*百手ニ二説アリ。数ノ百手^{アタル}中之百手此レ一也。数百ニテ者、数ヲ百射ハ也。中リノ百手者、アタルヲ数ニスル也。人数ハ

八人又八十六人、廿四人、五十人ニテモイル也三左。

*カブラ矢ハ神ノ箭ハ四ツハキ也。

*弓ノ異名春ハマウ夏ハアツサユミ秋ハツキユミ冬シラマト云也。

三園本

傍15「暮」一トハ昔シ神武天皇安日長髓退治之時ヨリ始也_左。

頭*珍重トハ涅槃經ニモテハヤストヨム也_左（傍注）。

*或人曰、百手トハ昔蚩尤南山盾籠ルヲ黃帝責順テ后、的ヲ張テ中輪ヲ蚩尤力目ニ象テ調伏ス為射ル故ニ南山ト書テアツチトヨム也。百手ニノ説有（以下底本参照）。

左貫注

傍3「珍」一トハ遺教經尊重珍敬ト云文アリ。其一（珍重）ト云也（以下ニ参照）。15「沙」取是去非譬如淘沙得金也。

頭*戸隱ニ付テ西行法師歌云、シナノナルトガクシ山ノカギワラビ、ク、キナラバアクマデニセヨ（6才上欄に書き入れ）。

*拝仕トハ總シテ官ニ仕ルヲ云也。拝賀トモ云。官ニ初テ任テ其人四位ナラハ（袍_カ）ヲ着テ庭上ニ立テ三度迄天子ヲ拝シ申也。拝字付テ物語アリ。冠拜ノカンムリト云事アリ。皇子元服シ給時ニ大臣タル人冠脱テ天子ニ着申也。是ヲ撰政闡白_マ大臣ト云也。

*拝官トハ天子_{（ミカド）}離髮ノ時先王ノ冠ヲ召給也。先王トハ応神天王或延嘉ナトモ。離髮カミヲハサムコト也。

*珍重ハ唯教經曰、尊重珍敬ト云文アリ。其ヲ一（ト_{勝劣}）云也。經ニハ、モテハヤスト読ナリ。

*百手ニノ説有也（以下底本参照）。

*的矢ノ本ハ、射付ヲツトリ、袖摺リ羽中ト云ヲ、四处ニ節有也。

小中村本

割1目出ト云給。自_レ之始也。其時太刀雄尊取_ニ岩戸_一抛_レ虚空_ニ給_ハ天_下明也。其戸落_ニ信州_一。今ノ戸隱是也。太刀雄_ハ常州志津明神_{ナリ}。

割 4 青東色也。言、陽 氣自東發間、曰青陽也。珍ハ翫也。爰ハ二字翫也。念比ノ義也。

割 6 月令、東風来ナハ解氷也。河図曰、崑崙山有五水。赤 水之氣上 蒸テ為霞也。

割 8 遂ニ拜顔可ニ召仕ノ義也。

割 10 无ノ故有レ碍義也。

割 12 射手十六人也。言ハ百人ニ勝ラ曰也。達 者是也。或射の時弓太郎弓二郎二人シテ矢ヲ百射也。

割 14 々々ニ節アリ。以ニ鶴羽ニ作也。以上持ニ三手也。染作一手、白羽一手、重ハ籠一手、以ニ三手ニ出也。

割 16 暮目一束トハ廿

7 才

四、一腰ト云ハ四也。穴ハ蝦 暮目ニ象ル也。音、不レ合ニ五 音。響ニ魔畏。仏ハ有ニ納受。故ニ用ニ祈禱也。沙汰ハ文選曰、汰

沙得レ金、云云。

一種一瓶者衆中課 役、

種ハ肴也。自ニ東山殿ニ始也。瓶甕ハ「_一」瓶子等也。課ハ役也。言ハ為ニ用意之義ヲ。

賭ノ引手物者亭主ノ奔走歟。

賭付ハ「_レ」的ニ義也。引手者ハ蒙求曰「_ミ」晋ノ顧宋字ハ彦先、在洛陽ニ与ニ同 寮飲ス。見ニ行ク灸者「_ミ」有ニ異ニ於常ニ。乃チ輟ニ己カ灸「_レ」

之。同座悉ク咲レ栄ヲ曰、豈ニ有ニ終一日取テ之不「_レ」知レ味ヲ也。注曰、有レ人一人ニ不レ引云也。引手物自レ是始也。

内々可レ被レ得ニ御意。

可レ得与可レ得 被 易也。可レ被レ云ハ左衛門殿ノ主人ハ可レ被也。可レ得云ハ大臣達御遊トシテ幸アル間、就レ其ニ而佐樣之人

万事物念間、不能一一。

柳文_三曰、一一_ハ不_二落_一着_二辞_一也。爰_{二モ}次_二第_二自_レ是_レ可_レ申_一云之義也。

併期^二面謁之時^一候。恐々謹言。

正月十五日

神異經曰、西方山中有_レ人。長一尺余。人見_レ之則病寒熱。名_{（カ）}山日有^{サキツチャウ}爆竹_一。

本3課 役 三左課小課役。 5賭ノ 三賭。 カケモノ 14 15 三 十五 ハイ 十六 小十五 イハロ (十六日か六日か不明瞭)。

割1畏三左畏_ル。4甕_一三甕_ニ左甕_ヤ。4義_ラ三左義_ソ。6蒙求曰_ニ三蒙求_ニ曰。6寮_三寮_一。6見_三行_{レク}灸者_一三見_ニ行_{レク}行_ヒ灸者_一左

見三行灸者一ヲ。
6 クラシムクラハシムクラフシム
三 咀 咀
7 咲 栄 左 咲
（「フ」に続いて「レ」）
朱筆力と有り） 栄（小参照）。 7 有ニ左有ニ。 7 日三

左日_ニ。 7 日三左云_ハ。 7 物三物_ハ。 9 与_レ可_レ得_レ被_三左_二与_三可_レ被_レ得_一。 9 可_レ被_レ三_二可_レ被_ト左_二可_レ被_レ得_ト。 9 人_ハ三左人_ニ。 9

可_レ被_也左可_レ被_レ得_也。 12 曰左云。 12 着_三著_一。 15 三左此。 15 異左異。 15 名_カ山_三左名_二山_一。

傍 3 「課」ツトム。13 「併」兼也三左。又ト云心也左。(左)羅列也三左。13 「謁」一ト侍ヘル心也。(左)白也三左。致也

左。告「」三告也左。

頭* 一種一瓶ト云辞八二条殿ヨリ東山殿へ鴨一對被進。其時、東山殿ヨリ御返事二一畏入候ト被遊之間、自是面白キ辞ナリ云テ天下二用ナリ左（辞ナリト）。

★一、二、ワイ ヲツテ孟子二八三ト書テ、ツマヒラカト読也左（傍注）。

三園本

傍 3 「衆」ーートハ言ハ、用意セヨト言心也。 8 「可被得」可レ得云時ンハ大臣公卿達御遊トシテ幸有時其様ナル人ノ方ヘ御意ヲ得ル也。 13 「併」シカシ（底本参照）。「謁」エツ。カツ（底本参照）。

左貫注

傍 3 「課」役。ハカル也。チ^②タムトモ読也。 5 「賭」鵬^イ也。 11 「二」漢書司馬遷伝云、一二ハ又事カ未^{ヤスカラ}ニ一二ニ為言也。山谷アリ。孟子ニハ二トヨム也。又ヲチカタメトヨム也。 13 「併」サテモノ心也。又サナガラノ心也。 13 「謁」マウス。 14

「正」ー異名（睦^カ）、孟春 大（族^カ）。 15 「爆竹」（左）ヤクルト。

頭 ー（種）ー（瓶）ト云辞ハ（以下底本参照）。

小中村本

割 1 四、一 腰^ハ四也。穴^ハ蝦蟇目象ル也。響不^レ合于五 音。故^ニ魔畏間祈禱^ニ用^レ之。沙汰ハ選^ニ汰^レ沙得^レ金義^ナ。

割 4 種^ハ肴也。瓶^ハ々子等也。課役^ハ用意之義也。

割 6 賭^ハ付^レ的辞也。引手物蒙求曰、晋顧 在^ニ洛陽^ニ与^ニ同寮^ニ飲。見^ニ行^レ灸者[、]有^レ異^ニ於常^{。乃輟^ニ己^カ灸^ヲ咀^ム之。同 坐悉}

咲栄。々曰、豈有^ニ終日^ニ取^レ之不^レ知^レ味乎。注^ニ或[、]人^ニ不^レ引^レ灸也。引手物ノ始ナ。

割 9 可^レ得[、]与[、]被[、]可^レ易也。可^レ被云^ハ左衛門殿ノ主人^ニ可^レ被也。可^レ得云^ハ大臣達御遊^ニ幸[、]間[、]佐 様ノ人方^ニ可^レ被^レ得^ニ御意^一也。

割 12 柳文^ニ曰、一二^ハ不^ニ落[、]着^レ辞也。追^テ自^レ是^ニ可^レト云^ニ申義^ナ。

割 （底本に無し。本文 13 「時」の後の割注）併^ハ兼也。羅 列也。謁^ハ詣也。白也（底本傍注参照）。

割 15 此日有^ニ爆[、]竹^{。神異経^ニ曰、西 方山中^ニ有^レ人。長一尺余。人見^レ之則病^ニ寒熱^{。名ニ}山}

頭★私曰、一人不引矣。其后ハ各々手ニ灸ヲ引也。引手物自是始也。

フウ

臊^{シラ}一 以^レ竹燒^レ火。爆^{ハク}炸^{ホウ}煉^{レン}有^レ声則、驚^レ去^テ不^レ來。故^ニ正^ニ月^ニ、自^レ是始也。又西義式、東如^モ此書也。尺素往來、

七穀^{シチコク}蒸^ル粥^ハ上^ニ元^ノ之世^ニ 礼也。

石見守中原

此^ノ姓有職原抄也。

謹上左衛門尉殿

(二月往状)

面^ヲ拜^シ之後^ニ中絶良久、遺恨如^レ山。何^ノ時^カ散^ニ意霧^ヲ哉。

中絶君子道也。詩曰、子夏過^ニ曾子^ニ。々々曰、入食^ヲ。子夏曰、不^レニ公之費^{ツイモ}一^ニ乎。曾子曰、君子有^ニ三^ノ費^ハ。飲食不^レ有^ニ

其中^ニ一^ノ少^シ而学、老忘^ル是^レ一^ノ費也。事^レ君^ニ而^モ有^レ功^{カル}輕^ク負^フ是^レ一^ノ費。久交^テ中^ニ一^ノ絶^ニ是^レ一^ノ費。其中^ニ々々絶^ハ惡^シ。

併^ラ似^レ隔^ニ胡越^ヲ。

言、遠義也。又都鄙^ノ心也。又指^ニ天竺^ヲ云^フ胡、指^レ唐^ヲ云^フ越也。

猶^ハ以^テ千悔々々。抑、醍醐雲林院花^ハ

醒^ハ一^ノ在^ニ山階^{シナ}、真言宗也。梅道地也。雲林院^ハ在^ニ京^ニ、是梅道地也。雲林^ト可^レ読也。

濃香芬々^トシテ^ニ匂^ハ一^ノ已^ニ盛也。嵯峨吉野山桜

嵯^ハ一^ノ京^ノ西岳^カ也。吉^ハ一^ノ大和^ナ也。日本、用^{コト}桜仁王四十五代

原本火偏に林、対校本同。

本3石見守中原小（「謹上左衛門尉殿」と同行下方に有り）。5左衛門尉左源左衛門尉。6後三后。13濃香三濃香。13野三野。
 割1爆^{ハクボク}爆^{ハクボク}爆^{ハクボク}爆^{ハクボク}（5）爆^{ハクボク}爆^{ハクボク}。1三左用^{ハクボク}之。1西義式三西天義式^{サキツ}左西天義式^{サキツ}。1東三東土^{チヤウ}左東土。1往来
 三左往来曰。2蒸^ニ三蒸^ニ左蒸^ニ。4有職原抄左有職原抄。7絶三絶。7君子三左君子。7詩曰左詩云。7入三左入。7不^ニ
 二三左不^ニ為^ニ。8少^{ハカシテ}三少^{ハカシテ}。8輕^{イトケ}負^{イトケ}三輕^{イトケ}負^{イトケ}左輕^{イトケ}負^{イトケ}（4）輕^{イトケ}負^{イトケ}（5）輕^{イトケ}負^{イトケ}。12山階左東山階。12在京^ニ三在京^ニ。
 京。12是三左是。

傍1「臊」（左）ナマクサシ。8「少」（左）イトケナウシテ。

頭*胡越八遠ノ心、又八都鄙ノ心也。

*雲林花道地タルコト八延喜御門御行幸アツテヨリ也。

三園本

傍1「爆」竹ノ焼ル音也左。1「驚」鬼神去也左。5「尉」六位也。

左貫注

傍1「臊」鬼名也。1「東」唐一也。3「中」章好^{ノリヨリ}（左「アキヨシ」）源平藤橘ヨリ前二ノ前二（衍字力）在。然共下也。5
 「源」（本文異同参照）一ノ字誤也。藤ノ字可然也。前ガ藤原氏ニ依テ也。6「面」一ノ二字賞翫ノ人ニ可書也。6「中」
 二年一ノタル心也。9「胡」胡越ト八胡八唐ノ北ノ端也。越八南ノ端也。11「醒」真言宗居処也。13「匂」紙ノ匂ウト云字花
 ノ含タ形也。（5）此ノ匂ハ花ノウツクシク見コトニシテ沈^シム色也。13「盛」薺サカン也。サカリ。ヨエシケル。
 頭*初字記云、陰陽之氣也、陰陽怒而為風乱而為霧。莊子云、勝^レ水上溢故為霧也。国語云、土高有^レ石云山。釈名云、山ハ産
 也、産生万物也。

* 漢明帝ヨリ前ハ天竺ニ曰胡、自明帝后ハ曰楚也。前ハ唐曰越、后ハ不云也。言ハ、越ハ五霸アリ。前最前ナル故如^(カ)此也。

* 泉式部歌、古ノ奈良ノ都ノ八重桜今日九重ニ匂ヌル哉。南都ヲ移北嶺後ノ歌ナリ。

小中村本

割1 臊。焼^レ竹成^二爆^一焔^二之^一声^一則、驚^レ畏^レ去^レ。故上元為^二此^一樂^一也。又西^サ天義^{キツチヤウ}式^{シキ}書^{ショ}也。尺素往來曰、七^(マ)谷^ヤ蒸^シ粥^ノ上元之世^ニ礼^レナリ。

割4 此姓異在^二職原^一。

割7 中絶^ハ詩曰、子夏過^二曾子^一。々々曰、入^レ食^ヲ。夏曰、費也。曾子曰、君子有^二三^一費^一。飲食不^レ有^二其中^一。少^{シテ}学^ビ、老^{シテ}忘^ルハ費也。事^テ君^ニ有^レ功^一輕^ク負^ハ一費也。久^ク交^テ中^ニ絶^一一費也。是中^ニ絶^レナリ。

割10 々々ハ都鄙心也。又天竺曰^レ胡、唐曰^レ越義^モ有^レ言^一、遠義也。

割12 醍醐^ハ有^二山階^一。真言宗也。雲林院在^レ京。何^モ梅道地也。雲林^{ウリノ}可^レ誦也。

割14 嵯峨^ハ西岳也。吉野^ハ大和也。日本^ニ用^レ桜事^ハ。

8才

聖武天王求^レ桜時、大和春日明神ノ后^ニ三笠山^ニ有^二八重桜^一。此^ヲ見^給テ則^テ四言^ノ作^レ詩^マ。光明皇后^ハ奉^レ給^ル。詩曰、昌^{サカ}春^ハ季^ニ、出^{ヤマ}（左「イタス」ニ美^ミ花^ハ、覓^ミ左「モトム」ニ王^ニ女^ヲ多^ク（左「ヲ」ニ恋歌。此ノ詩ノ句ハ三字也。毎^{コト}句上ノ一字一度読ム也。一字為^二シテ二^一字^一四^ニ言^一也。或^ハ人詩^ノ心歌^ニム也。日添取^{ソヘテ}社益山^{シマサル}桜^ハ伊茂^モ見^ミ伊社^{イサ}寢^ネ。天皇歸^キ洛^ノ後^ニ、后^キ天皇相^シ給^ル云、如何^{ナレハ}如^レ此^一之^レ作^レ詩^ヲ給^ル御送^ミ候^ヲ被^レ仰^ヲ。天皇ノ曰、桜有^ヲ見^ミ付^ル、哀^レ是^レ皇后^ノ進^シ度^ニ思^フ候間、余^リノ事^ニ作^レ詩^ヲ被^レ仰^ヲ、后ノ曰、寔^ニ思^フ食^ヲ折^リ一^ニ枝^一不^レ給^ル哉^ト被^レ仰^ヲ、帝則彼^ヲ桜^ヲ移^シ奈良^ニ殖也。自^レ是^レ普^ク賞^ス翫也。

開落交_レ条_ヲ其ノ梢_ヘ繁_シ。

雖_レ為_ニ同_シ木_一南_ニ枝_一暖_{シテ}早_ク開、北_ニ枝_一寒_ニ故_ニ遲_也。就開_ニ落_ニ菅_ニ丞相_ノ曰、散_{ルモ}惜_{ルモ}散_{ルモ}面_一白山_一桜。

難_ニ黙_レ止_一者此節也。

背_レ花_一不_レ可_レ居_也。

争_ニ徒然_{トシテ}送_ニ光陰_一哉。花_一下好_ニ士_一、

風流士也。又詩人歌人也。

諸家ノ狂人、

狂_{言奇}語_ノ人也。溺_{タワム}好景_ニ詠_ニ詩歌_一者皆狂仁也。千載集俊成ノ卿歌_ニ云、花盛_リ四_一方_一山_一辺_ニ木_一休_{カレテ}春_ハ心_ニ身_ニ添_ヲ又_ニ哉_一云

云。

如_レ雲似_レ霞。遠所花者、乗物僅_ニ僕難_ニ合_ニ期_一。

遠_所難_レ定_ニ約_一日。故可_レ賞_ニ近_ニ花_一。僅_ハ從_ニ者也_一。

玉の五画目の点虫損力。

本 10 送光陰 (3) 送_ニ光陰_一。 15 似霞_左如霞。

割 1 明神_左大明神。 1 后_左后。 1 則_左則。 1 昌_左昌 (左「サカナナリ」)。 1 春_左季_左春_左季。 1 出_左 (左「イタス」) 三出。

2 王女_左小玉女。 2 多_左多 (左「ヨ、シ」) 三多 (左「ヨ、シ」) 左多。 2 此_左詩_左句_左此_左詩_左句。 2 上_左一_左字_左上_左一_左字。 3 三

左読。 3 日_左添_左日_左添。 3 益_左益。 3 伊_左伊。 3 覆_左覆。 4 給_左給。 4 被_左被。 5 三_左候_左候。 4 被_左被。 3 被_左被。

7 開_左開。 7 散_左散。 7 散_左散。 11 流_左流。 13 狂_左狂。 13 狂_左狂。

傍 8 「節」ヲモトキトヨム。10 「徒」ツレナクシテ。13 「俊」藤原也。15 「如」多貌也（原本「貞」）。

頭 * 花見ント急ク小舟ニ帆ヲ拳テ吹ケカ。（重ね書き）風ノ吹カテアレカシ三左。

* 好ノ字ノ心ハ何レテモアレ其道ヲヨクミ又コノム心也四。

三園本

傍 6 「開」ーートハ法華經曰、如天樹王其花開ー是也。7 「桜」チレカシ花ノチラテアレカシ。10 「徒」ーハツレくト読也左。

頭 * 連歌之起、村上天皇句ニ小夜更テ早ネムクモナリニケリ、重野ノ大臣付句ニ、夢ニ逢ヘキ人ヲ待ラン。

* 又昔漢明帝永平十一年二從三天竺三魔騰竺三法蘭ト云ニリノ沙門白馬二負三聖經三來實シテ鴻臚寺ニ置也。總四十二章經レ之ヲ。大唐ノ朝ニ是ヨリ仏法流布ス。鴻臚寺官舎ノーツニテ侍ヲ彼ノーリノ沙門ニ給テ為二仏寺一始ナリ。白馬寺ト号也。追二其例一本朝ニモ弘法歸朝后以二玄蕃寮一給弘二仏法一。今東寺也。此注ニ内里寺云ハ非也。其レ如何ント云ニ内里寺本朝ノ官ニ合スル則ンハ形部ノ官也。

* 開落ノ歌ニ云、花見ントイソク小舟ニ帆ヲアケテ吹ケカシ風ノフカテアレカシ左。

左貫注

傍 3 「伊」ヨモイ人ヲ云也。中ニモ男ニトル也。6 「繁」ハシケシ。12 「家」ー高也。諸ノ心也。15 「如」多キ人数也。15 「遠」嵯峨吉ーヲサス也。15 「合」不自由也。16 「從」役者ナト也。

頭 * チルハ又ナヲ面白シ花盛リ吹カシ風ノ吹カテアレカシ。

* 開落ノ歌云、（以下三参照）。

* 諸家ハ公家也。今ハ武家也。

小中村本

割1 聖武天王求_レ桜給時、大和春日_ノ後_ニ、三笠山_ニ有_二八重桜_一。此ヲ見_テ給_テ作_二四言詩_一、奉_二光明皇后_一。詩曰、昌_ニ（左「サナリ」）_ニ春季_一、出_レ（左「ス」）_ニ美_一花_一、覓_ニ（左「ム」）_ニ玉_一女_一、多_ニ恋歌_一。此詩以_二句頭一字二度読故_一為_二四言_一也。或詩心_ヲ曰_二添_テ取_レ社_一益_レ山桜伊_ニ茂_一見_ヤ伊_ニ社_一癯_一。天王帰洛後、皇后向_二天王_一曰、如何_{ナレハ}、一枝不_レ給_テ哉有_ハ覺_ハ天王彼桜_ヲ移_二奈良_一給也。自_レ此天_一下普賞_レ桜。

割7 雖_レ為_二同_一木_一南枝早開、北_ニ枝遲_一故、交_ニ開落_一也。菅丞相_ノ曰、散_モ惜、散_モ面白_ニ山桜_一。

（割9 無し）

割11 詩歌風流ノ士也

割13 溺_ニ好景_一詠_二詩歌_一者_ハ、皆狂仁也。狂_ニ言奇語_一人也。千載集俊成卿歌_ニ曰、花盛_ニ四方_一山_ノ辺_ニ木_一休_ニ春_一心_ノ身_ニ添_一哉、云云。

割16 遠所_ハ難_レ定_二約日_一。故可_レ賞_二近花_一也。僮僕_ハ從_ニ者_一ナリ。

8ウ

又、下人也。

先_ニ近隣名_一花、以_二步行_一義_ヲ思_レ立_ニ事_一候。

步行_ハ非_ニ徒_一 歩_ニ之義_一 裏_ニ頭_一之義也。

雖_レ為_二左_一道_一之樣_一、

逆_ニ心_一也。老子經_ノ句義_ニ曰、左道猶_シ不_レ便_一、又戲_ニ義_一也。

以_二異体之形_一、明後日御同心候者本望也。

異体_ハ偏_ヒ下ノ義也。元來貴賤_ヲ不_レ分也。易_レ形故也。是_ヲ曰_二先生_ト也。

連歌宗匠、

賦物五字_ニ有_レ心。宗匠_ハ先達義也。日本ノ俗、指_二歌道ノ達者_一、云云。

和歌達者

和_ハ本朝也。本朝_ハ以_レ歌述_二其懷_一。古今和歌集序曰、素盞烏命向_二出雲國_一時、初_テ有_三三十一字ノ歌_一。々_ニ曰_ク、八雲立、出雲八重垣妻籠_{ツマメテ}、八重垣作_ル其_ノ八重垣_ヲ。仁王成_テ之歌云、難波津_ニ咲_ヤ此花冬籠_リ、今_ヲ春辺_ト咲_一。是_ノ歌歌道之父也。

一 兩輩、可_レ有_二御誘引_一。以_ニ其_ノ次_ヲ、詩聯句詠、同_ク所望_ニ候。

詩_ハ日本_ニ自_二天智天王_一始也。唐_ハ文選曰、李陵字_ハ少卿、初作_二五言ノ詩_一。或以_二毛詩_一為_レ始。詩_ノ字_ハ摩竺_ハ兩聖人、三乘十二分教白馬負、漢明帝內_レ裡ノ寺置、依之白馬院_ニ云。其后寺_ヲ以_二号_一「白馬寺」。々忍恋_ノ心隱_{シテ}而示_シ合_テ謂_リ

本6後三后。

割5曰左云。7偏_ヒ下_三偏下_一左偏化。7是_ヲ曰_ニ三左是_ヲ曰_ニ云_一。9云云三左(無し)。11序曰左序云。11命_三命_一。11向_三向_一給_フ。

11三十一_三三十一_一。11々_ニ曰_ク左々云。11八雲立_左八曲雲立_{スナ}。12云云三。12波_三波_一。12今_ヲ三今_ハ。12咲_一。一三左咲_ヤ此花。

14唐_ハ左唐_ハ。14李陵字_ハ左李陵_ノ字。14摩竺_三摩登竺_一。15寺置_左寺置_ス。15依_之左依_レ是。15院_三院_一。15其后_左其后_ス。15々三々

左寺_ハ。15心三左心。15謂_リ三語_ニ左語。

傍2「名」唐_ニテ八牡丹又異國_ニテ八海棠_ヲ花ト_ヲシ出_{シテ}云也。日本_ニテサ「一」ヲ云三(頭注)左。8「宗」尊也。

8「匠」貴。10「和」又和國ノ語ノ故也。15「置」永「一」中也(「5」永平年中也)。

頭★三十一字ハ仏ノ表三十二相ヲ一ヲ除クハ我也リ左。

★千載集曰、連歌ノ起ハ村上天王御句、サヨフケテ早ヤネムタクモ成リニケリ三左（傍注、ネムタクゾ）小（「千載集曰」無）。

★素――ノ出雲之國ヲ御通り有時、テナツチ、アシナツチト云祖父祖母アリ。其子ヲ稲田姫ト云也。其時祖父祖――憂深、是ヲ素――御覽シテ御助アリ。其時彼池ニ舟ヲ浮ヘ船中ニ毒水ヲ入、舟ヲカサリ其ノ上ニ彼姫ヲ（備カ）ヘ玉フ時、

（毒カ）蛇水ヲ食テ則死ス。又説云、トツカト云劍ヲ以テ「（切ルカ）ト云説アリ。又（カ）蛇（カ）ノ劍ハ村雲ノ劍ト云也。

「――雲也。歌云、日「――本シテサグサメト」――ワスナ左（傍注）。

★下照シタデル御神ノ歌云、天照ルヤ弟タナハタノ尾ヲ長瀬谷ノ谷ハ二渡須璞フタハリスア（カ）須幾尊彦スキタカヒコ。是ハ「――（「神代ノ歌ノ母」カ）也

（「5」タナバタ、二渡フタワタリ璞アラ、神代ノ歌ノ母）。

三園本

傍4「左」逆之心也。8「連」ナカウタトヨム也左（頭注）。9「五」山路木人舟――也。11「八」紅紫緑五色也。13「聯」

韓退子マヘ作始也左。14「竺」彭園左。

頭★名花トハ唐ノ京ニテハ牡丹、又異國テハ海棠、日本ニテハ桜ヲ云也左（傍注）。

★千載集云（以下底本参照）。

★重野大臣付句ニ、夢ニ逢ヘキ人ヲ待ツ、左（傍注）小（ヲ）。

左貫注

傍2「名」唐「――コデハ牡丹又異國ニ海棠ヲ花トイ出シテ云也。日本ニハ桜也。3「裏」面ヲカクス心也。4「左」不順義也。不如意ノ心也。カタチカイ也。6「異」ヒウゲタル様也。11「々」私云（仁）（王）ハ素戔嗚尊稻（草冠に稻）田姫

為夫婦之後八人王トナルノ心也。11「立」稲田姫返歌云、日モ暮又サクサメノトシハヤ出ヨ心ノヤミニハレニ(マカ)ヨワスナ。是ハ八ノ三十二相ノ一ヲ除ハ我也。12「歌云」ウネメカウタ也。14「摩」四十二章経ヲ渡也。

頭*連歌宗匠、筑波ノ物語云、新張筑波^{ニイハリ}ソ過テ幾ク夜カ寝ツル嚇テ夜ニ八九ノ夜日ニ八十日ヲ。是^カ日本武尊東夷ヲ平ケ帰洛時於駿州句也。新張トハ常州郡ノ名也。嚇トハ数云心也。彼物語ハ可^レ為^ニ連歌事ハ書也。非筑波集^ハ。二条ノ常

恩寺ノ作也。是^カ句ヲ為^ニ連歌ノ始ト也^カ。宗匠ハ会所ノ奉行トモ曰也。不^レ知^ニ初時^カ。宗匠トハ於毎月十八日二天帝ノ有^ニ法案^一。其ノ奉行也。元来ハ出家ナトノ為ニ^ニ下職也。故ニ東山殿ノ時、宗祇被^レ為^ニ宗匠^一。宗匠^ニ辞頻^ニ記有^リ。已^ニ被^レ定流罪^一。其時自^ニ宗祇^一宗匠シテ出立ヲ息シテ^カ出家ノ様ニテ勤ン由ヲ申ソ。遂ニ有御免。出家体ニテ勤ム。夫時宗祇ノ

発句ニ云、有ン名ヲ飯ヤ山彦郭公。此句ハ我彼役ヲハ勤間敷シキナレトモ成^ル宗匠ト爰ニ郭公ト云ヘハ山彦モ亦如呼云心也。老葉ニモ此句ヲハ老会所ノ奉行ヲ^カ請^ク時ト書也。老ト云ハ戒晩学ト云義。上表ノ時亦可勤人ヲ尋ルニ自^ニ宗祇^一申ニハ美濃国土岐ノ一族明知殿乎、兼載乎。明知殿ハ辞シテ不^レ勤。兼載勤。宗匠出立、白袴ニ直綴縮黒ニ付テ俗体ニテ勤故ニ為^ニ下

役^ニ也(以上判読不十分)。

*古歌云、山彦ノ答ル山ノ郭公一声鳴ケハ二声ソ須流、

*連歌ヲナガウタ(以下ニ参照)。

小中村本

割3步行ハ徒步之義也。一ニハ囊頭之義也。

割5左道ハ逆也。漢書、左道猶^ニ不便^一也。

割7異体ハ下ノ義也。

割9賦物五字、有^レ心。宗匠ハ先達義也。

副11 和ハ本朝ナリ。々々以歌述懷。古今序素靈烏向出雲国時初有三十一字歌。八雲立出雲八重垣妻籠八重垣作其八重垣。又或歌、難波津咲此花冬籠今春辺咲此花。此歌ハ々道父也。

副14 詩ハ日本ハ自天智朝始。唐ハ李陵始作五言詩。或以毛詩為始。詩字ハ摩訶両聖人、三乘十二分教負白馬置漢明帝内裡。依之曰白馬院。後改曰白馬寺。々忍戀心隱而語給。

9才

取也。詩之字カ、寺言書、二字一字作也。聯句者以韓文為始也、云云。

破籠、小竹筒等者自是可隨身。

己持可參義也。

硯、会紙等可被懷中歟、如何。心底之趣難尽紙上。

紙字、糸扁書、漢代蔡倫為將作大監擣布衣。以造紙。代繒帛至今伝之。昔使繒帛書文。日本伊

豆ノ衆禪寺カ初リ也、云云。

併期參会之次。不具謹言

不具自我位ノ下タル人用詞也。不具ハ无衣裳義也。言監物自彈正忠下官也。故不具云也、云云。

二月廿三日

彈正忠三善

謹上大監物殿

(二月返狀)

欲_下自_レ是令_レ申候処、遮_テ而預_二恩問候。御同心之至、多生嘉会也。抑花之底会事、花鳥風月者好士所_レ学、詩歌

本2筒_イ三筒。4会三_イ会左懷。4如何三如何_ン。9廿三日_二日_イ。9三善_左三善尹_{マサ}ノ陳_{チン}（「謹上大監物殿」と同行下方に有リ）。

10謹上大監物殿小謹上。大監物殿。11欲_下自_レ是令_レ申_下欲_下自_レ是令_レ申_上。11恩問三恩問。11候_左（無し）。11者_左（無し）。

割1取_ル三取_ハ左取。1字_{（カ）}三字_二左字_{（一）}8ウより続けると謂_リ取。詩之字_{（カ）}三語_三取_ハ詩之字_二左語取。詩之字。句点原文

のマ、）。5書_下左書。5代_二三代_{ツテ}。5書_下左書_{（カ）}。8无_二衣裳_一三无_二衣裳_一左无_二衣裳_一。

傍4「硯」子路_{（カ）}ノ始作也。（左）_{（津久雄勝）}左。4「会」会之処_二出ルホト_二是ヲモ書也。又懷中ヨリ詩歌ヲ書クホト_二懷ヲモ書

也。11「生」七世ト云心也。情也三左。

頭懷紙、仁徳天王ノ御宇、或人懷ヨリ紙取り出テ書ク事アリ。故懷紙ト也三（云也）左（云ナリ）。

三園本

傍2「破」一ハヲリノ断也。9「忠」尉二当。大ー相当正六位上、唐名侍御史。少一ー正六位下。11「花」春。11「風」

夏。11「月」秋。

頭*懷紙ハ（以下底本参照）。

*不具ト書時ハ恐々ヲハ不書也。

*監物_小。守王城四門_二也。唐名城門郎。六位任_レ之左（全て傍注）。

左貫注

傍4「硯」夏ノ代諷十_{（カ）}ノ始作云也。子路始作云也。9「二」一異名如_{（キナフキ）}、夾鐘、仲春。9「彈」正六位上。唐名御史。霜

台又侍御史也。洛門ヲアツカウ官也。――ハ京極、赤松二家也。9「三」氏也。11「花」春、鶯、夏、秋。

頭★懷紙ハ（以下底本参照）。

*二月異ニ衣更着。此此月ハ余寒猶嚴故衣更着ト云義也。花月トモ、此月ハ每朝待花故ニ云爾。

小中村本

割1取之詩字ニ^②故寺言二字作為二字也。連句者以韓文為濫觴者也。

割3已持參義。

割5会紙一作懷紙。仁德御宇或人懷紙取出書之。自此始也。漢代蔡倫搗布衣。以造紙而代繪帛也。昔使帛書文故造紙代之。

割8不具ハ自己位下ノ人用詞也。不具ハ无衣裳之義也。言、監物ハ自彈正忠ニ下官ナル也。故。

9ウ

管絃ハ

千字文注云、黃帝ノ臣伶倫氏、伐竹ヲ管ニシテ吹之。国号樂人。又文選注云、吹ヲ曰管ト、撫ヲ曰絃ト。文選注云、帝取崑

崑竹ヲ学ニ鳳凰ノ鳴ヲ。

嘉齡延年ノ方也。

方ハ慰也。法度也。術也。

御勸進之体、相ニ叶本懷ニ候者哉。後苑庭前ノ花、深山叢樹ノ桜、誠以開敷最中也。

開敷ハ自天樹王ニ云レ始也。歌云、今日見スハ苦カル可ヘキ花盛、咲モ残ス散モ始。真ニ最中也。

若今明日之際、有暴風霖雨者、

暴^ハ俄也。風^ハ陰陽ノ氣也。又雨^モ陽陰之氣也。

無念事也。同^ク者片時^モ急度所令^レ存也。和歌^ハ、雖^レ仰^ニ人丸赤人之古風^ヲ、

風法也。伝也。流也。人丸^ハ仁王四十一代持統天王時ノ人也。大長四十年丁未年逝去也。石見国高津^ニ臨終也。末^ノ一句云、留^{アラ}跡高津浦、吟^シ殘ス嶋隱、船、心頭真ノ面目、広劫以前ノ先。同歌云、石見方々高津ノ松ノ木間^{コノマ}ヨリ浮世ノ月見果^{ハミ}哉。此人丸^ハ在^レ位故、望^ニ王位。即被^レ流明浦。持統天王ノ云、对^ニ丸者誰問^ニ給。人丸答^テ曰、人也。依

本1管^{クワン}三管^{ミツクワン}左^{（左）}管^{（左）}6者^{（無し）}。6庭^{（無し）}。6最中^{モナカ}三最中^{（無し）}。8今^{（無し）}。8日^{（無し）}。8暴風^{トキツカセ}左^{（無し）}暴風。8雨^{（無し）}。10無^{（無し）}。10無^{（無し）}。

割2文注云左文注曰。2伐^レ竹^ヲ管^{シテ}三伐^ニ竹管^一。2国^{（左）}。2号^{（左）}。2選注云左選注曰。2撫^{（左）}撫^{（左）}。2選注云左選注曰。2帝^{（左）}三^{（左）}黃帝。3鳳^{（左）}鳴^{（左）}三鳳^{（左）}鳴也。左鳳之鳴也。7苦^{（左）}ル可^{（左）}ヘキ左^{（左）}苦^{（左）}ヤシカル可^{（左）}（左^{（左）}「シカラヘシ」^{（左）}）。7殘^{（左）}ス三殘^{（左）}。7始^{（左）}ス左^{（左）}始^{（左）}。11大^{（左）}左^{（左）}天。11丁^{（左）}未^{（左）}左^{（左）}丁^{（左）}未^{（左）}。11后^{（左）}ノ左^{（左）}後。12留^{（左）}跡高津浦^{（左）}。左留^{（左）}跡高津浦^{（左）}。12心^{（左）}左^{（左）}必^{（左）}。12広^{（左）}左^{（左）}空。12果^{（左）}三果^{（左）}。13位^{（左）}三^{（左）}左^{（左）}位^{（左）}。13三^{（左）}左^{（左）}石。13对^{（左）}三^{（左）}对^{（左）}ス。13給^{（左）}三^{（左）}給^{（左）}。

傍5「慰」（左）ナクサム。

頭*或人「一也」（5）旧八猿宴也。申合ト云。一人シテナラサル間ニ多数申シ合スル心也。其故ハ内裡（5）

又乙女達ニ山王ノ使者「一」（5）ノ猿通シテ子ヲ持也。其子能物マネナスル。夫則近江猿樂也。故ニ猿^{（カ）}宴^{（カ）}（5）猿宴ト旧八書也。

*延年ト八京ノ山王ニテ猿力色々ノ物ノマネナスル也。其ヲ社（三社務ノ人力）見テ又猿ノマネナスル也。其ヲ今、近江ノ日

吉八四座ヨリ先也。何ノ時代トハ不知也。総シテ延年トハ猿宴ト書ヘキ也。カキカヘ也。又云、猿八七百年マテ生ル也。神靈二通シテ如_レ此態ナドノ神樂ノマネヲスル也_三（「猿ノマネヲスル也」以下「其ヲ又人々近江ノ日吉力能ニツクリ始ル也。日吉八四座ヨリハ先也」。「何ノ」以下ほぼ同文）左（傍注）。

* 天ノ樹王名、朱引キハ患也。木王也。其証拠ニ華中ノ一卷口ノ四言ニ如天樹王其花_一トアリト云_三左（共に傍注）。

* 最中ヲハモナカト読ム也。歌ニ云、水ノヲモ_二一_一秋ノ最中ナリケリ_三左（共に傍注）。

三園本

傍1「管」_一ハ吹物也。_一ハ弾物也。日本ニ和ケテ、クワトヨム也_左。4「延」_一トハ、ナクサミト云心也。6「敷」法華経曰、如天樹王其花_一是也。（左）水面_一今ヨイソ秋ノ_一。10「無」花ヲ可見心ナキト云心也。13「持」其後内裡ヘ参礼ノ時也。

頭* 延年トハ（以下底本参照）

* 赤人ハ氏ハ山辺ト云也。此以前猿丸大夫云人名也。其化身故ニ赤人ト云也。下総山辺ト云所トモ云

左貫注

傍2「黄」管絃ハ黄帝ヨリ始也。4「齡」_一トハナグサミト云心也。4「延」_一トハ京ノ山王ニテ猿ガ色々ノ物マネヲ「_一」其ヲ社務の人力見テ又猿ノマネヲスル也。其ヲ又人々近江ノ日吉力能ニツクリ始也。日吉八四座ヨリハサキ也。6「開」_一ハ科注ニ如天樹王ノ其花開_一也。6「最」水ノ面ニ照ル月波ヲカズウレバ今夜ソ秋ノ最中成ケリ。7「自」即波利質多（「羅_{脱力}」）樹也。是帝尺_マ刃力（切利_力）ニ在木也。科呂_カ一卷ノ四言アリ。10「和」自是監物自負ヲ述也。10「古」ハ毛詩_カ福風義。

頭* 文選云、風ハ生_ニ於地起_ニ於青蘋之末。初学記云、陰陽怒而為風。

* 千字文注ニ伶倫於^(三) 大夏ノ西崑崙ノ陰^(二)取^(レ) 竹、為^(一) 黄鐘之管、製^(二) 十二竽孔、象^(三) 鳳凰雌雄之声、即定律令^(一) (呂^(カ)、
(分星^(カ)) 次也。

* 源頼政卿ノ歌云、深山木ノ其梢トハ知^(マ)ネトモ桜ハ花ニアラワレニケリ。

* 最中^{モナカ}、古歌云、水ノ面ニ光ル月ナミヲ見渡セハ今夜ソ秋最中ナリケリ。

* (海撰) 云東風ヲ曰^(カ) 南風云^(カ) 風^(カ)。

* 一 一代^(一) 一 (伊弉諾伊弉冉命^(カ)) ヨリ和歌ハアリ、ソレトモ^(一) 一也。其後ノ仏ノ三十二相ヲ表、
除^(レ)我ヲ三十一字也。和歌 素戔嗚命出雲国ニ稻田姫盟^(カ) 時^{(時^(カ))}時^(二) 一 (始ル也^(カ))。丸八王者十前ノ位、神八九前^(ノ) 位
也。一兒ニ山王^(ト) 云テ、兒ハ王^(ノ) 位準^(レ)之故ニ兒マテハ、丸字用^(レ)之。言ハ、丸之字ニ二点ハ十字心也。以下麻呂ナリ
(19)。

小中村本

割2千字文注、黄帝臣伶倫氏伐^(二)竹管吹^(レ)之。因号^(二)樂人^(一)。選注、吹^(ラ)曰管、撫^(レ)曰絃。又黄帝取^(二)崑崙之竹^(一)作^(レ)管、学^(二)鳳鳴^(一)
也。

割5方^(ハ)度也。術也。

割7開敷自^(二)天樹王始也。歌曰、今日不^(ハ)見苦^(シカル) 可花盛、咲^(モ)不^(レ)殘散^(モ)不^(レ)始。言、最中也。

割9暴俄也。風 雨^(ハ)陰陽之氣也。

割11々^(ハ)法也。伝也。流也。人丸四十一代持統朝人也。大長丁未年逝^(二) 去石見国高津^(一)。有^(二)辞世^(一)曰、留^(レ)跡高津浦、吟殘嶋隱
船、必頭真面目、広劫以前先。同歌曰、石見方高津ノ松ノ木ノ間^(ヨリ) 浮世月ヲ見果^(ヌル)哉。人丸望^(二)王位^(一)故^(二)被^(レ)流^(二)明石浦^(一)。持統曰、
对^(レ)丸者誰^(ノ)。人丸答曰、人也。依

十才

其人丸也。唐ニハ王指我身ニ曰朕^チ。日本ニハ王指我身曰丸。柿本ト云。八石州、和州、下野、下総、此四ヶ国ニ有。中、下野宇都宮ノ明神人丸ナリ。歌道ノ秘事也。和歌ノ三人ハ賀茂^モ、住吉^ミ、人丸也。云云。赤人者仁王四十五聖武ノ時ノ人也。代^上未^レ究^下長歌、

昔ハ引^ハ切々々有^ラ云ニ長歌、三十一字ヲ曰^フ短歌。今ハ三十一ヲ為^レ長ト。引切々々有^ラ為^レ短ト。自^ニ長歌至^ニマテ落^ト題^ニ、歌ノ十体也。近代ハ十体ヲ止^テ用^ニ六義^ヲ也。長歌云、打渡^ス遠方人ニ物申^ス、楚茂楚^ノ其白^ク咲^{ケル}ハ何ノ花楚茂。此ノ歌七字余也。是旋頭^ト云說^モ有^リ。長歌ハ三十一字、云云。

短歌、

宗祇^{ミルカニ}之作、見^ル誰^モ心^{ナヤマス}惱^ム者云是也。

旋頭、

歌云、若々^ガト明石浦ノ朝霧ニ島隱行^フ舟惜^ノ思^ウマ。此歌ハ若々ノ五字ニ歸也。持統天王ノ太子三歲^{シテ}御崩^シ去^ル哀^ク悼^ノ歌也。舟惜^ハ舟惜^ノ思^ハ義也。若々トハ一切衆生初^ニ發^ス心^ヲ云也。又長短方円ノ形^{ニモ}非^ハ処^ヲ指^テ云也。又母ノ阿字、父ノ鑠字^ヲ指^{シテ}、万事方化^カスル処^ヲ云也。朝霧、阿ハ勢至、佐々苦ハ觀音、氣里苦ハ阿弥陀、是三身ノ如來ト云。四魔隱^ハ行^ハ人魔、天魔、惡魔、煩惱魔、此ノ四魔ハ隱^テ代^ル終^ル四魔隱^ハ行^ト云也。舟惜^ノ思^ハ我等^ガ昼之光^ニ者不^レ出^ル而方極樂世界ニ赴^{ナリ}。

混本、

歌云、權ノ夕陰待散^リ安^キ哀^{ナリ}花世^ツ

割 1 丸 三丸^ト云左丸云。 1 指我身^三指我身^一。 1 三左^ハ。 1 中三左中^ニ。 2 神 三左神^ハ。 4 長歌三長歌^一。 5 物左物^ハ。 8
 悩者^{ナヤス}三悩^{カチアリヌクレト}。 者左悩者^ト。 11 生三左生^ハ。 11 非左非^サ。 11 化^カ 三化左^{化^ヅ}。 12 霧三左霧^ハ。 12 身ノ如来^ト云左身^ト云。 13 此^{ケル}
 四魔^ハ三左此^ハ四魔^ハ。 13 光^ニ者三光^ハ者左光^者。 13 不三不^シ。 13 三左西^ハ。 15 待 三待^{タテ} (左「マタヌ」) 左待^タ。 15 鼻^ハ三鼻^{ケル}
 頭* 長歌ヨリ落第マテ歌ノ十体也。 近代八十体ヲ捨テ六義也。 十体八十界、六義八六道也。 長^一初ツセヤフル川野辺^ハニフタ
 モトアル相トモトアルヲヘテ又モアイミンコトフタモトアルスギ。
 * 旋^一ノ歌ニアラサル説アリ三。

三園本

傍 2 「赤」石見国山野辺^一也。

頭* 鎌倉ノイナムラサキニモ人丸ノ墓処アリ。 頼朝、鶴岡ヘ郭公ノ初音聞ニ御越ノ時、白髪ノ尉出来テ歌曰、郭公ナニメツラ
 シト思ラン初音ヲ聞ケハコゾノフル声トアリ。 不思議ニ思食、問玉ヘハ、我ハイナムラサキニ侍ト云ヘリ。 是人丸也。

* 旋頭歌二 (以下底本参照)。

* 六義八輪^一 傍^一 打^一 落^一 長^一 短^一。 又風賦比興雅頌ニハ^一也。

* 母

父

阿^一

観^一

勢^一

五 二 三 三 三

左貫注

傍 3 「長」^一 八源氏也。 14 「混」^一 根也。

(「梵字辞典」 雄山閣、一九七七年 に依る、以下同)

頭★私云、旋頭歌、初生^{ハノキト}、母ノ胎ヲ出ルヲ云也。娑婆世界、此世界者難^{フネヲ}得^レ人心云意也。朝霧立、三毒二朝暮煩惱起ヲ云也。四魔滅、早四大ヲ帰スルヲ云也。念仏本来无一物之處ヲ云也。

★長歌ト云ハ源氏ソ。

★長歌ヨリ落第マテ歌ノ十体ヲ捨テ、六義也。一ハ八風武比興雅頌。又六義ハ、一ツニ八風ソヘ歌。文選十三ニ、ホト読也。又カスカ也。二ノ賦、カズヘ歌、三ノ比、ナラヘ歌、四八興、タトヘ歌、五八雅、タ、コト歌、六八頌、イハイ歌。

★混本之歌、キシヒコソ松ノ汀ニ琴ノネノ床ニハ君カツマソ恋シキ。雖混本歌惡シ。只輪廻ナリ。

小中村本

割1^レ其曰^二人丸^一。唐^ハ王曰^レ我為^レ朕。日本王曰^レ我為^レ丸。柿本^ハ石州、和州、下野、下総、処々有^レ之。中^モ野州宇都宮明神^ハ人丸也。歌道秘也。和歌三人^ト賀茂、住吉、人丸也。赤人^ハ聖武朝人也。

割4^レ昔引切々々有^リ曰^二長歌^一。三十一字曰^二短歌^一。今三十一字為^レ長、引切々々有^レ短。自^二長歌至^二落題^一歌十体也。近代止三十体、用^二六義^一。長歌曰、打渡遠方^ヲ人物申、楚茂其某^ニ白咲何花楚茂。此歌七字余也。曰^二之旋頭^一説有。

長歌曰^二三十一字^一也。

割8^レ宗祇歌、見^二誰モ心ヲ悩者^一ト云是ナリ。

割10^レ歌曰、若々明石浦朝霧^ニ島隱行舟惜思。此歌^ハ若々ノ五字帰也。持統^ノ太子三歳而崩御。哀悼歌也。若々^ハ一切衆生ノ初発心。曰^二非長短方円ノ形^一処也。又母ノ阿字、父鐙字指^テ万事方化^{スル}処云也。朝霧^ハ阿ハ勢至、佐々苦觀音、氣里苦^ハ阿弥陀、曰^二之三身如来^一也。四魔隱行^ト人魔、天魔、惡魔、煩惱魔、此^ハ四魔隱死^ヲ云也。舟惜思^ハ不見^二日光^一、曰^二西方極樂赴^一也。

割15^レ歌曰、槿夕陰待^ス散安哀^ハ梟花^ノ世^ノ。

10ウ

賀志。或逆_ミ読_カ混本_ト云説有。

折句、

業平歌云、唐衣_モ氣津々馴_シ妻_シ有_レ遙々_ルの_カ氣奴 留_レ旅情_ヲ思_フ。杜_{ハタ}若_{カキツ}句ノ上_ニ置_テ読終也。沓冠_{ツクカンムリ}、風情是賢 女賢夫ノ誓_ニ歌_ニ云、推_マ早_シ蓬屋ノ舟_モ古嘉礼行_フ須磨ノ浦 波_セ隙_ニ无_シ。男_コ須奈妻 風具 世志_ト誓。

輪廻、

歌云、長_キ夜ノ十_ノ眠_ノ皆目醒 波_リ乘_リ舟ノ音ノ善哉。此歌ハ順逆_ニ読歌也。

傍題、

譬_ハ花 月_ト云題_ニ花_ヲ棄_テ読也。又_ハ題ノ片々_ヲ読也。歌云、源三位賴政 月_ノ前_ノ花_ト云題、月景ノ移_ラ佐_サ里_リ瀬_セ波_{イタツ}徒_ニ花_ハ夜_ノ錦_ナ奈良麻志。又歌云、心_ロ宇 氣年_ニ有_レ哉_ニ廿日_ニ余_リ九日_ト云春暮_ノ奴 留_レ此_ノ歌_ハ三_ノ月_ノ題也。尽_上打越_シ、是指置當時、云未來_ニ歌也。君_カ代ノ久_シ加留_可様_{キタメシハカネツウヘン}兼_ニ殖住吉_ノ松。是等_ヲ云_ニ打越_ノ歌也、云云。落題_ノ体_上。落_レ題_ヲ読_テ歌也。和泉式部、桃_{四ツト}云題、沢鹿_ノ野原_ヲ走_リ股_{四タモ}隱_レ佐里_鼻。桃_ヲ鹿_ノ股_ニ為_レ読。是_レ落_レ題_ヲ義也。詩連句者、乍_ナ汲_{クミ}菅家江家之旧流_ヲ、菅弘仁天王御宇也。先 祖不_レ在_ニ分明。但古ノ老伝_ニ云、文章博士是兄菅原ノ院_ト申也。黄昏ノ程_ニ見_ル前裁_ヲ五六歳ノ有_ニ小童。容 顔美麗_ニ非_ニ只_一人_ニ。是_ヲ呼_向問_云、君_ハ誰_レ人_ノ子、自_ニ何_レ处_ニ來_ト問_イ給_{ヘハ}、児答_テ云、我_ハ無_ニ親、无_ニ住_レ处、

本 6 輪廻^{リンズ}三輪廻^{リンズ}左連歌者雖字^ニ無性^{無性}寂忍^{寂忍}之旧徹^徹輪廻。 11 打^打左打。 13 題^題ノ小題之。 13 体^体上三体^{上三}左体^左小体^小。

割 1 或^或三左或。 1 逆^逆モ三左逆^逆モ。 3 有^有三左有^有シハ。 3 遙^遙タル^{タル}三遙^遙ルヲ。 3 思^思ッ三思^思ッ。 3 終^終三左給。 5 妻^妻三左妻^妻モ。 5 志^志左志^志ジ。

5 誓^誓三誓。 7 音^音三音^音左音^音ヲト。 9 片^片三片。 9 月^月景^景ノ左月^月ノ景^景。 9 花^花ヤハ夜^夜ノ三花^花ヤ。 夜^夜。 10 尽^尽三(無^無シ)左尽^尽之。 12 指^指三左指^指。 14 落^落左落^落シモ。

14 三左秋。 14 四^四タモ左四^四ツタモ。 16 弘^弘左弘^弘光^光イ。 16 古^古ノ老^老伝^伝テ左古^古ノ老^老伝^伝。 17 呼^呼三呼^呼左呼^呼モ。

傍 2 「折」カキツハタ。

頭 * アウコトヲノナコリヲシクハノカダタテスノシル人ナシヤノコヨイワタレヨ。

* 仁徳八咫神第四御子也。 平野大明神是也。 此時作琴引始也。

* 菅家江家ノ根本、昔^{十七代也}仁徳之御時、伏見ノ長風三位ト云人、二人ノ子ヲモツ。 此時マテ氏ト云事モナシ。 然ニ長風、大唐モ姓

ト云コトナリ(三左アリ)。 姓ヲ二人ノ子ニ賜ヘト申サレケレハ、其時兄ハ菅ト云処ニ居住ス。 故ニ賜^菅菅姓^菅。 弟ハ大江ト云

処ニ住ス。 故ニ賜^江江姓^江。 此兄弟ノ流也^{三左}(共に以下に一文有り)。

三園本

頭 * ナガキヨノトラノネムリノミナメサメ、ナミノリフネノヲトノヨキカナ。

* 菅家江家根本(以下底本参照、「此兄弟ノ流也」に続いて) 其后菅姓ハ自天神^聞天下^ミ。 江家ハ千里ト云人ヨリ聞エル也。

左貫注

傍 4 「菅」此歌夫婦相時誓歌也。 8 「傍」私云、落題少コトナリ。 15 「江」先^カ祖^祖吉備也。 16 「弘」四十九代也。 16 「菅」

是善ト云人也。

頭 * 折句、ニシノ海^ヤ八重^ハノシヲチヲ今朝^{ケサ}ミレハ、セニタツ人ウウキメラハミル。 叡山ニテ児御童子ヘ忍ノ言ノ歌也。 是モ折句

ト云。

* 初生娑婆世界煩惱、四魔滅念仏トモ書也。

* アサ キリ

ア 母 バ ン 父 キリク弥陀 サ 観 音 サク勢至

サ バ ナ ナ ナ

* 菅家江家根本（以下底本参照、「此兄弟ノ流也」に続いて）天神七歳ノ御時歌云、梅ノ花ベニガ色ニモサモ似タリ、アネカ
ノヲニモツゲタカリケリ。

小中村本

割 1 加 志。或逆「読」曰「混本」有「説」。

割 3 業平歌曰、唐衣氣津々馴「シ」妻「有」ハ遙々氣 奴留旅惜思 杜若「於」句頭「読」歌也。

割 5 是「賢」夫貞女「誓」歌「曰」、推「早」逢「屋」舟「モ」古加礼行「須」磨浦風「波」隙「无」
（左の送り仮名は原文のマヽ、「无」の下に小丸「」。
頭注「ヲトコスナ」を指す力、後掲頭注参照）。

割 7 歌曰、長夜「十」眠皆目醒、波乗舟「音」善哉。此歌「ハ」順逆「読」也。

割 9 花前月「ト」云題、頼政、月「影」移佐里世波徒「ニ」花「ヤ」夜「ノ」錦奈良麻志。此「ハ」落「レ」花也。又三月尽歌、心憂年「ニ」モ有「哉」廿日余、九日「ト」
云「春」暮奴留。此、皆傍題歌ナリ。

割 12 是「読」未来「一」体也。君代久加留可様「ハ」兼殖住吉「ノ」松。曰「ニ」之「打」越。

割 14 落「レ」題「読」歌也。和泉式部桃四題「ニ」沢鹿秋「ノ」野原「ヲ」走「ハ」股四「モ」隠佐里見。桃「ヲ」股「ニ」為「レ」読。是曰「落」題「也」。

割 16 菅弘仁御宇人也。不「レ」有「二」父母「一」矣。菅原院黃昏見「ニ」前裁。五六歳有「二」童子「一」。容顔美 麗「シ」テ非「二」只人「一」。問曰、君「ハ」誰「ノ」人子、

自_レ何_レ処_一来_ヲ。児答曰、我是无_レ親、无_二住_一处_一、

頭*ヲトコスナノメモクセシ。

* (近代注) 小中村清矩云、友人榊原芳野蔵古抄本二種アリ。共二輪廻ノ上ニ連歌者雖学無性寂忍之旧徹ノ十二字アリ。又風情ノ注、波隙无_二下ニ男須奈妻具世志誓ノ八言アリ。右ノ頭書ニヲトコスナ云々ト書ルヲミレハ右ノ文アル本ヲミテ書加ヘタル者ナルヘシ。

11才

願_ハ奉_レ憑_ニ菅_一相_ヲ、則_レ為_ニ子_一、詣_ニ天皇_一へ_レ聽_ニ賜_ニ菅_一姓_ヲ。然_ニ才_一 智_ハ日_ニ新_ニ生_一 年_ニ七_一 歳_ト申_ニ始_ニ作_ニ詩_一給_ヲ。菅 丞_ハ上野高田庄白雲山 相_上 下_ニ菅原_ト云_ニ处_一、 八月四日_ニ化_一生_ス。故_ニ今_ニ足跡_ニ在_ニ彼_一所_ニ也。江家_ハ祖_ニ吉備大臣_一也。大江千里是也。故日本儒 道

菅丞相、吉備大臣也。

更_サ忘_ニ下_一序、表、賦、題、傍絶、韻_上声_上之質_上。

序_ハ緒也。前重后 輕_ト書也。又次也。節也。編也。理也。表_ハ書_ニ表_ニ我_ニ心_一拳_ニ天_ニ子_一也。書方四 六三分、又四六ト書也。

賦_ハ四 六_ニ踏_レ韻書也。傍絶_ハ楓林社 日ノ鼓、茅屋午時ノ鶏也。韻 声_ハ天子聖哲_ト字母也。平上去入_ヲ云也。

頗_ル如_ニ猿_一 猴_ノ似_ニ人_一。同_ニ螢火_一ノ猜_ニ灯_一。

頗_ハ不_レ正_ニ辞_一也。猿_ハ似_ニ人_一 又非_レ似。諸虫_ハ雖_レ入_ニ火_一、螢_ハ不_レ入_也。是猜_ニ之義_一歟。又以_ニ小窺_レ大_ニ之義_一也。

然_レ而_レ被_レ召_ニ加_ニ人数_一 分者、殆_ハ可_レ招_ニ後_一 日ノ恥辱_一。

殆_ハ危_也。近也。粗_ニ之義_一也。

執筆、発句、賦物以下、

賦物者、賦^ス何^ニ山、路、木、人、舟、此五ヶ也。山^ニ計、何上、賦下書也。其余朝、夕、花、白、唐、青、手、下、初、屋、処、草、鳥、馬、色、衣、文、物、世、千、此二十三ヶ^ヲ皆何^ノ字^ノ下^ニ書也。賦^ニ用事、

本 4 賦^ニ三^フ賦^ス。 4 質^ニ三^ス質^ス。 7 似^レ人^ニ三^似人^ニ。 9 然^シ而^モ三^左然^キ而^モ小^然而^モ。 9 分^ニ左^小分^ニ。 9 後^三后^一

割 1 願^テ奉^ハ三^願奉^ハ。 1 然^ニ三^然然^シ。 1 作詩^ヲ三^左作詩^ヲ。 1 菅^ニ相^ニ丞^三左^菅丞^相。 2 菅原^ト左^菅原^ト。 2 足跡^ニ三^足跡^ニ左^足跡^ニ

足^ニ跡^ニ。 2 道^ニ三^左道^ニ。 5 節^ニ三^廊。 5 方^ニ三^左方^ニ。 6 踏^ニ三^踏。 6 韻^ニ声^ニ三^左韻^ニ声^ニ。 12 何上^ニ三^何上^ニ (無し)。 12 賦下^ニ三^左賦下^ニ

賦^ノ下^ニ。 12 手^ニ三^手 (左^テ) 左平。 13 三^左心^ニ。 13 三^左玉^ニ。 13 ケ^ヲ左^ケハ。

傍 1 「菅」卒醍醐天王朝人也。 2 「備」四十五代聖武ノ時ノ人也。

頭^京★宋^二 (左「京イ」) 何尚之^一与顔延之^少子^一 (見せ消ち) 相狎。二人並短小、何謂^レ顔^ニ為^レ猿頭^一、謂^レ何^ニ為^レ猿擘^一。問路人^二、

誰^レ似^レ猿。路人、指^ニ尚之^ヲ為^レ似。延之喜^ハ人^ノ曰、彼^ハ似^レ猿、爾君^一 (左「キミ」) ノ^マ真猿也^左。

三園本 (傍注、頭注無し)

左貫注

傍 4 「序」大^ニ小^一。 4 「表」一^ニ八文^ニ与^レ賦別也。 4 「傍」一^ニ対^ニ与^レ絶句也。

頭★身出光明飛行自在。安怡^シ部力歌、暗夜^ニヲノ力光ヲシルベニテ心ノ儘^ニ二飛蜚^一哉。

*猿猴似人者、顔淵子与客論量ス、客問^レ別人、々^一 (人) 曰、客似^レ猿、々^一 (猿) 八顔延子ニ全体似タリト云也。

小中村本

割 1 願^ハ奉^レ頼^レ君^ヲ為^レ子^ト。菅原院即見^シテ帰^シ而^レ為^レ子^ト。才智日新、七歳^シテ而始作^レ詩也。彼人^ハ上野高田庄白雲山下八月四日

化生^ト云説有。江家、吉備大臣大江千里是也。日本之儒道從^ニ此兩人^一始也矣。

割5序ハ緒也。次也。編也。前重後輕ト書也。表^ハ書^ト表我心^ヲ奉^ニ天子^一。四六三分二書也。賦^ハ四六^ニ踏^レ韻書也。傍^ハ絕^ハ楓

(割8無し)

割10殆^ハ危也。近也。粗之義也。

割12賦物^ハ山、路、木、人、舟、曰^ニ之五ケ^ト。山^ノ計何^ノ字^ノ上書也。其余朝夕、花、白、唐、青、手、下、初、屋、処、草、鳥、馬、色、心、文、物、世、千、玉、此二十三^ハ何字^ノ下書也。

11ウ

一 字露頭、言^ハ日火、蚊^ハ香、名^ハ菜、是^一二字訓類^イ也。二字反音、言^ハ花^ヲ反^レ繩^ト、夏^ヲ反^レ繩^ト、水^ヲ反^レ罪、如此反^レ読^{シテ}二字成^レ名、体字^ノ類也。三字中略、言^ハ霞^ヲ為^レ紙、草蒲^ヲ為^レ雨、桂^ヲ為^レ唐、如此三字^ハ字^ノ中^ヲ一^ニ略成^ニ二字^ト、有^ニ字^一也。四字^ノ上^ノ下略、言^ハ驚^ヲ為^レ概^ト、玉章^ヲ為^レ松、苗代^ヲ為^レ橋、是^モ字^ノ四^ノ字^ノ上^ノ一^ニ字略^{シテ}中^ニ二字^ヲ以^テ為^ニ字^一体^一也。

才^{カク}覺未練之間、当座^ニ定^テ可^レ及^ニ赤面^ニ歟。

未練^ハ非^ニ緞練^ヲ義也。或未練与臆病相似別也。臆^ハ畏^レ人、未練^ハ无稽古之者^ニ云^ニ云。

聊^{イザカ}可^レ有^ニ用意^一之由承候畢。可^レ致^ニ如^レ形稽古^一。公私念忙之間、不^ス違^イ毛拳^ニ。恐々謹言

稽古^ハ勘^レ言也。違^ハ假也。毛拳^ハ八筆之名也。

二月廿四日

監物丞源

官^ハ見^ニ職^一。源氏^ハ仁王五十六代自^ニ清和天王^一六番自^ニ貞純親王^一始也。仁王五十五代文德^ノ御子惟仁、源氏^ノ先祖也。文

徳ノ子ニ本后ノ子^ハ惟高親王、中宮后染殿御子^ハ惟仁親王、兄弟位争^ア。相撲競有^レ之。惟仁^ノ翦^シ蔣^ヤ（左「マサヨシ」）良雄^{ヨシヲ}、長^ケ不^レ足^ニ三尺^ニ。惟高^ノ名虎^ナノ右丞

本7承三小奉。9四左小三。

割1日三日^ハ。1繩^{ナハ}ト左繩^ト（左「ナワト」）。1繩^{ツナ}ト左繩^ト。2体三有体ノ左有体。2草^{アヤメ}蒲三左草^{アヤメ}蒲。2唐^{カラ}三唐^{カラ}。2仮^カ字左仮^カ名。2一三左一字。2略^{シテ}左略^{シテ}。3字体三字ノ体。3驚^ス左驚^ス。3仮^カ字左仮^カ名。6相似三相似^{トモ}。6者云云三者^ヲ云、左者^ヲ云也。8言三左古。8假三左暇。10職一三左職原。11本后ノ左本后^キ。11宮左宮。11争^{アリ}三争^{ナリ}。11三左馬。11翦^シ（左「マサヨシ」）左翦^シ蔣^ヤ（左「ヨシマサ」）。12足^{タラ}左足^{タラ}定。

傍7「聊」少也。

三園本（傍注、頭注無し）

左貫注

傍5「練」百度ネルヲ云^マ綴^レ。一度ネルヲ練ト云也。千綴百一。9「監」六位也。9「源」宣懿^ノ（懿^シ）の右側「次」の下「旦」。

頭*此ノタビハ幣トリアヘス手向山紅葉ノ錦神ノマニ〜。

*是ハ下略也。其故ハ神ノマ、ト云心也。二ノ字二略シテ可見。一度ネルヲ曰練。百度ネルヲ曰鍛^カ。

*赤面、人ハ、シンジンノニツガ肝要ニ、腹立時ハ心カ乱ル、処テ赤スル也。

*翦^カ、ハクル。カケル。

小中村本

割1 一字露頭、日火、蚊香、名菜、是一字訓類也。二字反音、花反繩、夏反綱、水罪反類是也。三字中略、霞為紙、菫蒲為雨、桂為唐之類是也。四字、上下略、鸞曰檝、玉章為松、苗代為橋之類也。能可心得一。

割6 未練不鍛練之辞也。

割8 (本文7「稽古」の後に) 々々勘古義也。

割8 遑、暇也。毛拳筆名也。

割10 官見職原。源氏仁王五十六代清和第六王子貞純親王始賜之。五十五代文德天王御子二人有。本后腹惟高、中宮后染殿御腹惟仁、二人有位爭。相撲競馬有之。惟仁方良雄長不足三尺。惟高方名虎右丞

12才

尉、七十五人力也。被兩人位爭取相撲也。為祈禱惟仁、比叡山惠亮和尚憑焚護摩。平生有大威德明王加護也。

惟高々野山柿本貴僧正憑祈禱也。是護摩。惟仁思食樣我微力也。不叶思謀以母染殿泪流僧正至前

申給樣、和尚祈不叶叶歸給申給、其時僧正、早勝思、油断也。其時惠亮碎腦、二帝即位、云云。和尚当壇

碎腦祈也。故惟仁勝也。是故僧正思死也。本尊不動也。不動負也。僧正美人染殿見、恋心起歟。綰惠亮可勝定也。

其故叡山四王ノ灰云物アリ。大江山酒点童子為灰封山置也。負蒔此灰、鬼神国可成為也、云云。

謹上彈正忠殿

(三月往状)

祝言、於于今雖事旧候、猶以珍重々々。慶賀逐日重疊。家門迎年繁昌。自他不可有際限。

早^ク可^レ令^{レム}參賀候。抑御領入部无^ニ相違^ニ之条、先^ニ以神妙之由御感候也。

本7逐^ニ逐^テ左遂。7限^ニ限^ニ。8可^レ令^{レム}三可^レ令^ニ小可^レ令^ニ(3)可^レ令^メ。8賀小賀。8候^ニ候^ニ。8无^ニ无^ニ。

割1尉左相。1被^ニ被^ニ左彼。2泪^{ナミカタ}三泪^{ナミカタ}。5其故三其時。5灰^左灰^ト。5子^左子^子。5封^{シテ}山^ニ左封^{シテ}山^ニ。5神^左神^子。

頭*文選二云、汰^レ沙^ヲ得^レ金心也。

三園本

頭*早一賀ト八年始之祝言三日迄、遅カナルダニモアリ。セメテ急可參也。

左貫注

傍1「恵」感德五世之縁也。2「貴」不動七世之縁也。3「ニ」惟仁也。ニ番目也。5「大」丹波ニ在也。7「祝」三月ニ至ニテ遅之義ナリ。7「慶」八二字トモニヨロコビ也。7「逐」次第ノ義也。7「自」我モ人モト云也。8「早」初春祝儀至暮春ヲソナハル心也。8「御」イト八京都ヨリ下リ国々ニ御厨ヤヲ三年充巡番ニ三月物ヲ備也。今ハナシ。

小中村本

割1相七十五人力也。彼両人位爭取相撲也。為^ニ祈禱^ニ惟仁叡山憑^ニ惠亮和尚^ニ焼護摩^ニ。惟高野山憑^ニ柿本貴僧正^ニ焼護摩^ニ也。惟仁思食様良雄微^{ナリ}。不^レ叶思、謀^ニ以^ニ母染殿^ニ白^ニ僧正^ニ言^メ。惠亮祈不^レ叶而歸給^ト。流^レ泪申給^ト。其^時僧正早勝^ト思、少有^ニ油断^ニ。然間惠亮碎^レ腦為^ニ祈禱^ニ給間、良雄勝、惟仁即位給也。僧正、染殿見^ニ美質^ニ恋^ニ心萌^ニ、故不^レ叶祈也。僧正思^レ之終死給也。総而惠亮可^レ勝定也。其故叡山四王^灰ト云物有。大江山酒^点童子焼^レ灰封^ニ置^ニ之。若負^ハ時^ニ此灰^ニ、可^レ成^ニ鬼神国^ニ思給也。

12ウ

就^{ツイテ}之^ニ四 至^ニ傍爾ノ境^イ、

法意^ハ不^レ依^ニ四 至^ニ、依^ニ町 段^一可^レ領^ニ田 地^一。武 家^ハ宗被紀^ニ四至^一。但^シ无^ニ町段者 可^レ依^ニ四 至^ニ。境^ノ事[、]式^{シキ}目^一、時^ハ公家、武家、成敗无^ニ差別^一。又至^ハ方也。即云^ニ所帶^一也。傍爾勝也。言^ハ境勝^ヲ指^{シテ}角埋^一也。故云傍 爾^一。境^ノ分事、仁王 卅七代孝德天王御宇始^テ定^一給也。京^ノ地奉行^ハ者白殿也。境^ヲ記^{アル}書^ヲ号^ニ案^{ホツタイ}祇定^一持^一給也。

阡陌

東西^ヲ云^レ阡、南北又云^レ陌、市^一中街云陌。

聊不^レ可^レ混^ニ乱他 所^一。

混^ハ雜也。明也。合也。

被^レ致^ニ精廉沙汰^一之祭、奉公之忠勤也。厨、椀^{ヲウ}（椀） 飯^{ハシ}无^ニハ相違^一者

厨、莊子曰、庖人^ノ掌^ル物也。今^ハ大官也。即供膳也。大官 所^ノ名也。其内供膳也。日本^ニハ奉膳也。椀 飯^ハ正月武 家出

仕也。又地下人^ハ翫^ニ入^ニ部人^ニ義也。

早^{ヲウセ}課^ニ沙汰人等^一、地下目録、取帳以 下

目録^ハ民之記戸口^一書也、云云。

文書、濟例納法注文、悉可^レ被^ニ召進^一也。

定^ニ文書^一、仁王第五孝靈天王御宇^一始^ル也。濟^ハ成也。言^ハ地下人^ニ成付^ル之例也。同^ニ恒例^一也。納 法^ハ年貢也。召進^ト者、前 代之

「椀」多くの伝本が「椀」として用いている。

本 1 傍小膀。 1 爾ニ爾ヲ。 7 可レ三左小可レ被レ。 9 奉公之小奉公。 9 也左（無し）。 9 椀ニ椀ノ。 12 地下目録ニ地下ノ目録。 12 取ト取ツ。 12 以下三以下ノ。 14 書左書。 14 納ニ納ノ左納ノ。 14 法三左法。 14 悉ニ悉ノ。

割 2 地ニ三左地ノ。 2 宗ニ宗ノ左宗。 2 三左尤。 3 无左無。 3 傍爾ニ傍爾ノ左傍爾。 3 境三境。 3 角ニ（左「スミニ」）左角ニ。 3 故ニ。 3 云左云ニ。 4 白殿ニ伯殿ノ左白殿ノ。 4 案三安。 4 袂ニ袂ノ左袂ノ。 6 南北又云レ陌ニ南北云レ陌ノ左（無し）。 6 市中ノ左又市中。

10 宮 所ノ三宮所左宮所。 10 椀三椀。 11 人ニ三人ノ左人ノ。 13 記三左記。 15 書三左書。 15 五左七。 15 成ニ成ノ左皆ニ。 15 召進ト進ト者左召進者ト。

傍 2 「宗」始也。 ムネトモ、モツハラト云心也。 3 「角カトニ」（左）スミニ（「3」角スミ左カトニ）。

三園本

傍 9 「飯」一トハ地下人入部ノ方、響ヲ云也。

頭 * 精廉与正直似而別也。 廉直八人ガ狂言ニモ其方ハマギレ（左又）メサレタナド、云ハ八无興スル也左。

* 阡一トハ内裏ヲ中ニシテ南北千里ヲ云レ阡、東西三百里ヲ云レ陌也左（左参照）。

* 沙汰ハ文選ニ沙汰ノ得金之心也左（傍注）。 浪。 陶沙ノ之辞云。 陶沙為米也陶米去沙也。 言ハ検断比判シテ取是去レ非也。 譬

ハ如下沙汰得レ金陶沙得レ金ト（見せ消ち）米也（「3」）。

* 椀飯トハ八部スル人ヲ地下人ガモテナス也。

左貫注

傍 1 「四」一トハ四方也。 1 「傍」膀也。 傍マ亦作膀。 札也。 2 「町」丁。 2 「段」丁。 9 「精」キヨクスナヲナリ。 クワシ
クカドタツ。 9 「沙」一ハ文選ニ沙レ沙レ（右「ソロヘテ」）得レ金ヲ心也。 10 「庖」庖丁人也。 14 「文」其処ヨリ何程仰ヲ能

クヲボユル也。引付。14「濟」恒例。(左「ナス」)。14「納」年貢ヲ云也。

頭*宗ト八宗領、庶子也。

*町段、田ノ一町一段也。

*阡陌八内裡ヲ中ニシテ東西千里ヲ曰阡、南北三百里曰陌。

*精廉与(以下ニ参照)。

*私云、孝靈天王、人王第七也。天竺祇園精舍火焼後、梅旨迦震旦王再興也。震旦秦襄三万葉集又伊呂波始也、云々。第六孝安御子也。此時三皇五帝書如來富士山涌也、云々。見王代記也^(カ)。

小中村本

割2法意ハ不^レ依^二四至^一、依町段^一領^レ之。武家^ハ專用^二四至^一也。至^ハ方也。言^二四方所帶^一心也。勝爾札也。田地^ノ界^ニ埋^レ之。曰「勝爾」也。分^レ境事孝德御宇始定^レ之。記^二境畦^一之書曰^二之安祿書^一。京^ノ地奉行白殿持^レ之也。

割6東西曰阡、南北曰陌。又市中街曰^二之阡陌^一。

割8混^ハ雜也。

割10厨^ハ庖人掌^レ物処。今膳部屋也。椀飯年始武家出仕義也。又地^ノ下人饗^ハ於^二人部之人^一「義モ有^レ之」。

割13目録^ハ記^二民戸口^一ヲ書也。

割15濟^ハ成也。言^レ地^ノ下人成符例也。同恒例也。納法年貢也。召進^ハ以^二前代^一ノ之

13才

引^レ付^一、可^レ召^二進^セ百姓^一也。

容隱之輩、

言ハテ可ニ奉 公ス无ニ所帯、少シ者、雖レ有ト无奉公ニシテ自由之輩也、云云。

隱田之族、

言ハ百 貴文之所帯ヲ雖レ持ト、或ハ五十貫分ト号シテ残所之土貢等ヲ不レ納レ之仁也。

為ニ罪科ノ可レ被レ住ニ進交名ヲ。且東作業之事、

東春也。言春始ニ天 子取鋤、三 推シテ諸 民ヲ進レ農給也。字 書ニ云、東春ノ方、其方色青、即木也。木ニ曰ヲ貫、謂ニ

之東。韻府ニ見能也。

兼相ニ水旱之年ヲ、須ク下ニ計ウ 腴 之地ヲ、

腴ハ肥也。迫ハ乾也。

被レ致レ所務上。有可ニ開作ス之地上者、

開作、荒ヲ曰ニ謂更作ヲ也。

招ニ居農人ヲ令レ開發ニ之ヲ、

招ニ居農人ヲ、唐ニハ燕ノ邵伯為レ政マ、寛仁也。一月ニ三度招ニ邑 老マ、会ニ飲棠樹ノ下ニ。日本ニハ菅丞相為讃岐守之時、松カ

山ニ在国シテ為レ政。故四月一日菅ノ詩云、生ニ衣欲待家人ヲ着、宿釀ハ当ニ招テ邑 老ヲ酣。宿釀ハ古 酒アリ也。

於レ可任ニ用水之便ニ者為ニシテ土 民之役ト、可修ニ固堤、井、溝ヲ者也。佃、御正 作ノ勸農除ニ迫

地ヲ撰ニ熟田ニ急キ

原本ニ、对校本同。

本2容隠コウオン三容隠コウオン左容陰コウオン（左「ヲン」）。6為メ罪科ズイカノ左小為罪科。6住ス三左小注。6交カウ三交カウ（右「カタ」）。6且カ三左且カ。9須ス計ケイヲ腴オ之地チヲ三須ス計ケイ腴オ迫之地チヲ左須ス計ケイ迫之地チ。11被ヘ至シ所務ムヲ左小被ヘ致シ所務ム。16於レ可任ニ三小於ニ可任ニ左於ニ可任ニ。16便ニ小便ニ。16修固シウコ三修固シウコ固コ左修固シウコ。16堤ツクリ左堤ツクリ。16勸ケン三勸ケン（左「ゲン」）。17撰セン三撰セン。割1三以ニ左以ニ。5残ゼン左残ゼン。5不フ納ナ三不納ナ左不納ナ。7云ニ左曰ニ。7木也ニ左木ニ。8韻ニ左勻ニ。10腴ニ左小迫ニ。12荒ワ日ニ謂ニ荒田ニ謂ニ荒田ニ謂ニ。14邵シウ三邵シウ。14為ニ左為ニ。14為ニ左為ニ。14守ニ左守ニ。15衣エ左衣エ。15宿釀ハ当ニ招ニ邑ニ老ニ酤ニ。三宿釀ハ当ニ招ニ邑ニ老ニ酤ニ（上カ）左当ニ酤ニ（下カ）宿釀ハ招ニ邑ニ老ニ。傍17「急」（左）イソキ。

三園本

傍6「交」校也左。16「修固」（左）ツキ、カタメ。シユゴス。16「佃」公田又代官手作也（小13ウ参照）。

頭*宿一ハ、フルサケ也。

左貫注

傍2「容」形。「陰」隱。一トハ出テ可レ仕所帯ナレトモ少キナド、云テ奉公スル也（「奉公スル也」は疑問）。6「東」一トハ書テ春ツクリトヨム也。7「三」天子一諸侯六也。8「韻」勻歟（左「勻」に近似した字形のため注記したのである）。9「相」占イノコト也。16「修」ツクロイ。ヲサム。16「堤」（左「堤」堤也。16「佃」公田ヲ云也。善田也。治田也。16「勸」刀買テ鋤売テ武具ヲ買テ売レ犢ニ（右「ホネヤミ」）等也。16「迫」乾地也。

小中村本

割1引付、地頭所可ニ召進義テ也。

割3容隠トハ无奉公之族也。

割 5 隱田ト縦ハ百貫所帶言ニ五十貫ニ類是也。

割 7 東ハ春也。言ハ春始ニ天 子取鋤、三 推シテ諸 民進レ農也。東春方、色青、即木也。木ニ曰貴、則東字也。

割 10 迪ハ肥也。迫ハ乾也。

割 12 開 作ハ荒田曰改作ニ也。

割 14 招ハ農人ヲ者、唐ハ燕ノ邵伯為レ政 寬仁也。一 月ニ三度招邑 老、會ニ飲棠樹下。日本ハ菅丞相為ニ讃岐守ニ時 居ニ松 山ニ為レ政、招ニ邑老也。故四月一日、菅詩ニ 生衣欲待ニ家人ニ着、宿釀ハ当招ニ邑老 酣。注宿釀ハ酒也。

13ウ

令レ下ニ 行種子農料マ

種子ハ天神七代目伊弉諾伊弉並ノ尊始テ下。

促ニ鋤、鋤、犁等ノ農具、

農具ハ堯始作也。日本ニハ仁王第一綏靖天王始作也。田ノ畠等 皆々於ニ綏靖之代ニ何モ始也、云云。

可レ令レ耕ニ作、粳、糯、早稻、晚稻等。

粳ハ此レ即常人ノ所食米ナリ。但シ有リ赤白小大異 族。四 五ノ種尤モ同一 類ニ也。

苴西 収期ニ可願ニ効顯春法ノ既 得。

春 法ハ燒米也。又曰ニテ攪簸也。

次ニ畠ノ事、蕎、麥、麥

麥ハ玉篇云、俗作麥。仁王卅代欽明天王御宇、善光寺之如来渡之也、云云。小麥合陽皆用レ之。熱家療也。作ニ麪則温明、

麥亦当_レ如此_レ。終南山_ノ下_ニ生_ル也。

大豆、小豆、

大豆生_ニ太山平沢_ニ。今_ハ処々_ニ有_レ之。有_ニ黑白_一。黒_ハ入_レ薬、小_ハ為_ニ雄豆_一。入_レ薬尤_モ佳_シ。白_ハ不_レ入_レ薬_ニ者也、云云。小豆_ハ旧_ニ与_ニ大豆_一同_ニ條_ニ。今_ハ淮間_ニ尤_モ多_ク種_ニ時_ニ。関西河北京東西尤_モ多_ク食_レ之_ニ者也。

大角豆、粟_{アハ}

々_ハ江東_ニ所種_ニ、及西洛_ノ間皆其粒細_シ。或_ハ呼_テ為_ニ姿々_一、則是稷乃稷之異名也、云云。

黍、稗等_ハ、

五 穀_ハ楊泉物理論_ニ曰、黍、稷_{ムキ}、麥、稻_ネ、麻_サ也。

傍訓位置違い力。 「也」 までの五文字汚れ力或いは墨消し力。 読点は底本通り。 原本のマヽ、対校本同。

本3具 小具_ヲ。 5 稗_ツ三左 稗_{ルシ} 5 糯_モ三左 糯_モ 5 晚稻_ヲ三左 晚稻_ヲ 7 苳_ノ三左 苳_ノ 7 西_{セイ} 収_{シユ} 7 期_キ三期_コ 7 願_ニ左願_下。 7 願_カ左願_カ 左願_カ (左「コギ」) 小願_カ (左「コキ」、欄外に「カリカケ」)。 7 春_{ツイ}三春_{ツウ}左春_{ツウ} 7 既_キ 得_ド一_ラ三既_キ 得_ド一_ラ左既_上得_上。 9 蕎麥_{ハキ}麥_{ソハキ}三蕎麥_カ左 蕎麥_{ソハキ}麥_{ハキ} (「蕎」左「蕎麥イニ」) 小蕎麥_{ハキ}。 15 大角豆_{サ、キ}左大角豆_{サ、キ}。 17 稗_ヒ三稗_ヒ (左「稷イニ」)。

割2並左冉。 4 始_テ左始_テ。 4 緩_{スイ}三左緩_{スイ}。 4 モ_三也已下左以下。 6 所食_ニ左所食_ニ。 6 白_{シテ}左白_{シテ}。 6 族_ソ左族_ソ。 6 同_ニ三同_ニ左 同。 6 類_ニ左類_ニ。 10 云_ツ左白_ツ。 10 渡_レ之左渡_レ之。 10 合陽_ニ合陽_ニ左合陽_ニ。 10 家_ニ左家_ニ。 10 作_ソ麴_ソ三作麴_ソ左作麴_ソ。 10 明_ニ左明_ニ。 11 麥_三麥_三 13 藥_ニ三左藥_ニ (小割13参照)。 13 雄_{小イ}三雄_{小イ}。 13 佳_シ左佳_{ナリ}。 14 准間_ニ左准間_ニ。 16 為_ニ姿々_一、則_ニ為_ニ姿々_一、則_ニ為_ニ梁々_一、則_ニ (4) 姿々_ト則_{ハハ}。 16 橙_{イネ}三橙_{イネ}左橙_{イネ}。 18 麻_胡三麻_胡。 則_ニ (4) 姿々_ト則_{ハハ}。 16 橙_{イネ}三橙_{イネ}左橙_{イネ}。 18 麻_胡三麻_胡。

傍7「西」(左)アキラサメミ。 7「既」尽也。

三園本

傍3 「鋤」牛ニテ引スル也。3 「犁」足ニテ踏テ耕スル。

頭* 蕎麦ヲ二字共ニソバトヨムヘシ。如此医書ニヨム也_左。

左貫注

傍3 「鋤」鉏同。3 「鋤」鋤_{ハク}同。3 「犁」押_レ田器又耕也。犁（施注を示す符号は「鋤」に付く、田器。山海經曰、后稷之孫叔均作_一。7 「西」秋也。7 「期」十二日_レ期、十二月、十二年_レ日_レ期。7 「既」料也。10 「麪」麵同。15 「大」謙同也。16

「橙」櫟（原本のマヽ）。

頭* 披簑帶笠伴春鋤欲、不見公与相起身自犁鋤、韓。

* 蕎麦ヲ二字ニ（以下ニ参照）。

* 日本紀云、崇徳天王御宇、天雨_レ秬_{キミ}。其色黒方令ノ三月三日天雨_ニ豆、小豆_ニ、植_レ之出生矣。其葉如_ニ白膠木_ヌ者也、云々。

小中村本

割2 佃_ハ公田也（13才_ニ左参照）。種_ヲ蒔事、伊井諾、伊井再始_レ之給也。

割4 々々_ハ神農始作_レ之。日本綏靖御宇始_レ之。

割6 （無し）

割8 舂法_ハ燒米也。或曰_ニ撞_ニ簸也。

割10 （無し。次13の冒頭に一部有り。）

割13 麦生_レ終南山下也。大豆生_ニ太山平沢_ニ。有黒白_一。黒_ハ用_レ藥、小為_ニ雄豆_一。小豆、江淮間尤多。

割16 々、江東尤多。呼名_ニ姿々_一。粒尤小也。

副
18
五^マ谷^ハ
漢書、黍、稷、麥、稻、麻也。

(
続
)